

# 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報

令和元年度

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団



# 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報

令和元年度

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団



# 序

埋蔵文化財は、新潟県はもとよりわが国の歴史や文化を正しく理解するために欠くことができないものであり、かつ将来の文化の発展向上のために適切に保存・活用していくべき貴重な文化遺産です。

当事業団は、平成4（1992）年に新潟県が出資して設立したもので、組織の中心的な事業である発掘調査及び整理・報告書刊行のほか、埋蔵文化財保護に関する普及啓発・資料管理などに努めています。平成26年度には公益財団法人として再スタートを切り、現在に至っています。本書は、令和元年度に新潟県から委託を受けて実施した事業の概要や成果などをまとめたものです。

発掘調査は国道交通省事業関連の8遺跡、36,197m<sup>2</sup>を実施しました。このうち、縄文時代後期初頭から前葉の大規模集落である村上市上野遺跡（国道7号朝日温海道路）では、当時の地形の埋没や地震の痕跡など、景観や土地利用・災害史を知る上でも多くの情報を得ることができました。柏崎市丘江遺跡（国道8号柏崎バイパス）では鎌倉時代～安土桃山時代まで続く水田の広がりが確認しました。六日町藤塚遺跡・坂之上遺跡（国道17号六日町バイパス）では古墳時代中期～後期の集落域の様相が明らかになってきました。上越市弥五郎遺跡（国道253号上越三和道路）では、古墳時代前期（弥五郎遺跡）の集落の実態が明らかになりました。整理作業は、村上市上野遺跡（国道7号朝日温海道路）、南魚沼市余川中道遺跡（国道17号六日町バイパス）、柏崎市丘江遺跡（国道8号柏崎バイパス）、魚沼市工田遺跡（国道17号浦佐バイパス）の4遺跡について行いました。これらの情報は、年4回刊行の広報紙『埋文にいがた』やホームページで随時公表したほか、6遺跡で現地説明会を開催し、延べ365人の参加者がありました。

普及啓発事業関係では、「佐渡の王－蔵王遺跡－」「海をわたったヒスイ」の年2回の企画展、「発掘！新潟の遺跡2019展」、新潟県埋蔵文化財センター講演会などを実施し、多くの方々に参加していただきました。また、火起こしや勾玉作りなどの体験を取り入れた校外学習支援や親子考古学教室、少年少女考古学教室では、児童・生徒に対して埋蔵文化財の価値や保存の大切さ、古の人々の生活や知恵を学ぶ楽しさを知る機会を提供できたものと考えています。

最後に、日ごろ当事業団の事業に御理解・御協力をいただいている関係各位に対し、厚くお礼を申し上げますとともに、今後のさらなる事業の推進に向け、一層の御支援をお願いいたします。

令和2年9月

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

理事長 稲 荷 善 之



# 目 次

## I (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団の概要

|            |   |
|------------|---|
| 1 目的及び事業   | 1 |
| 2 設立年月日    | 1 |
| 3 基本財産     | 1 |
| 4 組織       | 1 |
| 5 役員及び職員   | 2 |
| 6 理事会・評議員会 | 2 |
| 7 予算及び決算   | 3 |
| 8 主な行事     | 4 |

## II 発掘調査・整理事業

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1 本発掘調査実績一覧              | 6  |
| 2 本発掘調査遺跡 位置図            | 6  |
| 3 本発掘調査                  | 7  |
| 上野遺跡(Ⅲ)(国道7号朝日温海道路)      | 7  |
| 境塚遺跡(Ⅳ)(国道49号阿賀野バイパス)    | 9  |
| 丘江遺跡(Ⅷ)(国道8号柏崎バイパス)      | 10 |
| 六日町藤塚遺跡(Ⅲ)(国道17号六日町バイパス) | 12 |
| 坂之上遺跡(Ⅱ)(国道17号六日町バイパス)   | 14 |
| 古屋敷割遺跡(国道253号上越三和道路)     | 16 |
| 弥五郎遺跡(国道253号上越三和道路)      | 18 |
| 館遺跡(国道253号上越三和道路)        | 20 |
| 4 整理・報告作業                | 21 |
| 5 令和元年度刊行報告書             | 21 |
| 6 保存処理                   | 22 |

## III 普及啓発事業

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1 現地説明会                       | 24 |
| 2 企画展・常設展                     | 24 |
| 3 発掘!新潟の遺跡2019展・遺跡発掘調査報告会・講演会 | 26 |
| 4 校外学習等・体験イベント                | 26 |
| 5 入館者                         | 28 |
| 6 広報                          | 29 |
| 7 図書                          | 30 |

## IV 研修・各種委員会

|           |    |
|-----------|----|
| 1 職員研修    | 31 |
| 2 安全衛生委員会 | 32 |

|                  |    |
|------------------|----|
| V 市町村及び関係機関等への協力 | 34 |
|------------------|----|





# I (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団の概要

## 1 目的及び事業

県内における埋蔵文化財の調査及び研究、保護思想の普及、啓発などを行い、本県文化の向上に寄与することを目的として次の事業を行う。

- ア 埋蔵文化財の調査及び研究
- イ 埋蔵文化財保護思想の普及
- ウ 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修
- エ 出土遺物の保存処理
- オ 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行

## 2 設 立 年 月 日

平成4年3月31日

## 3 基 本 財 産

3,000万円(県の出捐)

## 4 組 織

(平成31年4月1日現在)

### 評 議 員 会

評議員(4)

### 理 事 会

理事長(1) ——— 専務理事(1) ——— 理事(2)  
監事(2)

### 事 務 局 (職員総数 33)

事務局長(1) ——— 総務課長(1) ——— 職員(1) 嘱託員(3)

——— 【本発掘調査・整理】

——— 調査課長(1) ——— 課長代理(2) ——— 職員(4) 嘱託員(8)

——— 【普及・資料・保存処理】

——— 普及・資料課長(1) ——— 課長代理(1) ——— 職員(1) 嘱託員(9)

## 5 役員及び職員

(平成31年4月1日現在)

### 役 員

|           |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 【評議員】(4名) | 小林 昌二 | 寺崎 裕助 | 橋本 博文 | 東海林 晃 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|

|           |       |               |       |       |  |
|-----------|-------|---------------|-------|-------|--|
| 【理事会】(6名) |       |               |       |       |  |
| 理 事 長     | 稲荷 善之 | (新潟県教育委員会教育長) |       |       |  |
| 理 事       | 清野 一善 | (専務理事)        | 笠原 英一 | 小沢 昌己 |  |
| 監 事       | 豊田 智  | 山田 修          |       |       |  |

### 職 員

| 職 名     | 氏 名   | 職 名         | 氏 名   | 職 名        | 氏 名   |
|---------|-------|-------------|-------|------------|-------|
| 事 務 局 長 | 清野 一善 | 調 査 課 長     | 沢田 敦  | 普及・資料課長    | 春日 真実 |
| 総 務 課 長 | 松田 祐  | 【本発掘調査】     |       | 【普及・資料・保存】 |       |
| 班 長     | 小野澤浩嗣 | 課 長 代 理     | 佐藤 友子 | 課 長 代 理    | 荒川 隆史 |
| 嘱 託 員   | 3名    | 〃           | 石川 智紀 | 班 長        | 田海 義正 |
|         |       | 専 門 調 査 員   | 飯坂 盛泰 | 嘱 託 員      | 9名    |
|         |       | 主 任 調 査 員   | 田中 祐樹 |            |       |
|         |       | 文 化 財 調 査 員 | 塩野 寛人 |            |       |
|         |       | 【整 理】       |       |            |       |
|         |       | 班 長         | 小野本 敦 |            |       |
|         |       | 再 雇 用 嘱 託 員 | 鈴木 俊成 |            |       |
|         |       | 〃           | 高橋 保  |            |       |
|         |       | 嘱 託 員       | 6名    |            |       |

## 6 理事会・評議員会

| 会議名                    | 開催日          | 付議事項等                                                                                                                                                     |
|------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回定例理事会               | 平成30年5月29日   | 1 平成29年度事業報告<br>2 平成29年度決算<br>3 任期満了に伴う次期役員候補者の推薦<br>4 評議員会の開催<br>5 任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦<br>6 任期満了に伴う次期評議員選定委員の選任                                           |
| 定 時 評 議 員 会            | 平成30年6月18日   | 1 平成29年度事業報告<br>2 平成29年度決算<br>3 理事の任期満了に伴う改選<br>4 監事の任期満了に伴う改選                                                                                            |
| 臨 時 理 事 会<br>(決議の省略)   | (平成30年6月18日) | 1 理事長及び専務理事の選定                                                                                                                                            |
| 第2回定例理事会               | 平成31年3月25日   | 1 平成30年度事業計画の一部変更<br>2 平成30年度収支補正予算<br>3 平成31年度事業計画<br>4 平成31年度収支予算<br>5 個人情報保護規程の一部改正<br>6 役員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦<br>7 臨時評議員会の招集の決定<br>8 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦 |
| 臨 時 評 議 員 会<br>(決議の省略) | (平成31年3月29日) | 1 役員の選任                                                                                                                                                   |

## 7 予算及び決算

### 令和元年度収支決算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

#### 収入の部

(単位：円)

| 科 目             |                 | 当初予算額         | 補正後予算額<br>a   | 決 算 額<br>b    | 増 減<br>(b - a) | 備考 |
|-----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----|
| 大               | 中               |               |               |               |                |    |
| 基本財産運用収入        | 基 本 財 産 利 息 収 入 | 3,000         | 3,000         | 2,999         | -1             |    |
| 事 業 収 入         | 発 掘 調 査 受 託 収 入 | 1,125,905,000 | 1,041,636,000 | 1,041,636,219 | 219            |    |
|                 | センター管理運営受託収入    | 20,340,000    | 20,340,000    | 20,340,000    | 0              |    |
|                 | (センター管理業務受託収入)  | 8,533,000     | 8,266,000     | 8,265,594     | -406           |    |
|                 | (保存処理業務受託収入)    | 3,200,000     | 3,200,000     | 3,200,000     | 0              |    |
|                 | (普及啓発業務受託収入)    | 7,600,000     | 7,600,000     | 7,600,000     | 0              |    |
|                 | (センター維持修繕業務収入)  | 1,007,000     | 1,274,000     | 1,274,406     | 406            |    |
| 補 助 金 収 入       | 国 庫 補 助 金 収 入   | 2,478,000     | 2,478,000     | 2,478,000     | 0              |    |
|                 | 地方公共団体補助金収入     | 1,239,000     | 1,239,000     | 1,239,000     | 0              |    |
| 雑 収 入           | 雑 収 入           | 30,000        | 25,000        | 25,300        | 300            |    |
| 当 期 収 入 合 計 A   |                 | 1,149,995,000 | 1,065,721,000 | 1,065,721,518 | 518            |    |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 |                 | 250,000       | 252,000       | 251,996       | -4             |    |
| 収 入 合 計 B       |                 | 1,150,245,000 | 1,065,973,000 | 1,065,973,514 | 514            |    |

#### 支出の部

(単位：円)

| 科 目               |               | 当初予算額         | 補正後予算額<br>a   | 決 算 額<br>b    | 増 減<br>(b - a) | 備考 |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----|
| 大                 | 中             |               |               |               |                |    |
| 受託事業費支出           | 発 掘 調 査 費 支 出 | 1,043,596,000 | 960,290,000   | 960,290,138   | 138            |    |
|                   | (国土交通省発掘調査費)  | 1,043,596,000 | 960,290,000   | 960,290,138   | 138            |    |
|                   | センター管理業務費支出   | 8,533,000     | 8,266,000     | 8,265,594     | -406           |    |
|                   | 保存処理業務費支出     | 3,200,000     | 3,200,000     | 3,200,000     | 0              |    |
|                   | 普及啓発業務費支出     | 7,600,000     | 7,600,000     | 7,600,000     | 0              |    |
|                   | センター維持修繕業務費支出 | 1,007,000     | 1,274,000     | 1,274,406     | 406            |    |
| 補助事業費支出           | 補 助 事 業 費 支 出 | 4,956,000     | 4,956,000     | 4,956,000     | 0              |    |
| 管 理 費 支 出         | 総 務 費 支 出     | 191,000       | 214,000       | 205,347       | -8,653         |    |
|                   | 管 理 費 支 出     | 80,879,000    | 79,893,000    | 79,901,734    | 8,734          |    |
| 当 期 支 出 合 計 C     |               | 1,149,962,000 | 1,065,693,000 | 1,065,693,219 | 219            |    |
| 当 期 収 支 差 額 (A-C) |               | 33,000        | 28,000        | 28,299        | 299            |    |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額   |               | 283,000       | 280,000       | 280,295       | 295            |    |

## 8 主 な 行 事

### 【平成 31 年】

- 4 月 1 日 辞令交付
- 2 日 初任者研修
- 12 日 春季企画展「佐渡の王」開会、8 月 25 日まで  
(新潟県埋蔵文化財センター 以下、埋文センター)
- 21 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会①(埋文センター)

### 【令和元年】

- 5 月 9 日 全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会(長岡市)
- 19 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会②(埋文センター)
- 21 日 会計(監事)監査(平成 30 年度)
- 29 日 令和元年度第 1 回定例理事会(自治会館)
  
- 6 月 2 日 「花と遺跡のふるさとフェスタ」(埋文センター)
- 3 日 職員健康診断(各自受診)、9 月末日まで
- 13 日・14 日 全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会(山形県鶴岡市)
- 19 日 令和元年度第 1 回定例評議員会(埋文センター)
- 23 日 少年少女考古学教室①、新潟県埋蔵文化財センター講演会③(埋文センター)
- 28 日 『埋文にいがた』107 号 発行
  
- 7 月 7 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会④(埋文センター)
- 16 日 安全衛生委員会現場巡視①(古屋敷割遺跡、弥五郎遺跡)
- 17 日 安全衛生委員会現場巡視②(丘江遺跡Ⅶ、六日町藤塚遺跡Ⅲ、坂之上遺跡Ⅱ)
- 19 日 安全衛生委員会現場巡視③(上野遺跡Ⅲ)
- 28 日 親子考古学教室(埋文センター)
- 29 日 六日町藤塚遺跡展示会(南魚沼市)8 月 4 日まで
- 30 日・31 日 テュービンゲン大学留学生インターンシップ(上野遺跡)
  
- 8 月 6 日 県文化行政課連絡調整会議①(自治会館)
- 21 日～23 日 文化庁令和元年度第 1 回埋蔵文化財担当職員等講習会(北海道札幌市ほか)
- 25 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会⑤(埋文センター)
  
- 9 月 6 日 秋季企画展「海をわたったヒスイ」開会、12 月 8 日まで(埋文センター)
- 8 日 少年少女考古学教室②、新潟県埋蔵文化財センター講演会⑥(埋文センター)
- 28 日 『埋文にいがた』108 号 発行
- 29 日 企画展関連講演会(埋文センター)

- 10月 6 日 まいぶん祭り（埋文センター）
- 19 日 古屋敷割遺跡、弥五郎遺跡、館遺跡合同現地説明会（上越市）
- 20 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会⑦（埋文センター）
- 23 日 安全衛生委員会現場巡視④（館遺跡）
- 24 日・25 日 全国埋蔵文化財法人連絡協議会北信越ブロック会議（石川県金沢市）
- 
- 11月 1 日 消防訓練、安全衛生委員会 救命救急法講習（埋文センター）
- 2 日 上野遺跡現地説明会（村上市）
- 7 日・8 日 埋蔵文化財保護対策五県協議会（新潟市）
- 10 日 少年少女考古学教室③、新潟県埋蔵文化財センター講演会⑧（埋文センター）
- 14 日・15 日 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修協議会（茨城県水戸市）
- 21 日 2019 年度第 2 回報告書データベース作成に関する説明会（埋文センター）
- 22 日 市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修①（埋文センター）
- 
- 12月 8 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会⑨（埋文センター）
- 12 日・13 日 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会（京都府京都市）
- 13 日 市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修②（埋文センター）
- 26 日 『埋文にいがた』109 号 発行

#### 【令和 2 年】

- 1 月10 日 冬季企画展「発掘！新潟県の遺跡 2019」開会、3 月 22 日まで
- 26 日 少年少女考古学教室④、新潟県埋蔵文化財センター講演会⑩（埋文センター）
- 
- 2 月13 日・14 日 市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修③（新潟県庁）
- 18 日 関東甲信越静地区埋蔵文化財行政担当学会議（静岡県静岡市）
- 23 日 新潟県埋蔵文化財センター講演会⑪（埋文センター）
- 
- 3 月 2 日 新型コロナウイルス対応のため臨時休館、3 月 31 日まで
- 26 日 令和元年度第 2 回定例理事会（自治会館）
- 26 日 『埋文にいがた』110 号 発行

## Ⅱ 発掘調査・整理事業

### 1 本発掘調査実績一覧

| 事業者                                      | 路 線                | 遺跡名<br>(回数)      | 所在地               | 調査<br>期間       | 面積<br>(依頼) | 面積<br>(実質)       | 主な<br>時代       | 主な遺構・遺物                                                                   | 担当者             | 報告書<br>刊行予定 |
|------------------------------------------|--------------------|------------------|-------------------|----------------|------------|------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------|
| 新潟国道事務所<br>長岡国道事務所<br>国土交通省<br>高田河川国道事務所 | 国道 7 号<br>朝日温海道路   | 上野<br>(Ⅲ)        | 村上市猿沢・松原          | 6/5～<br>12/11  | 5,650      | 5,946            | 縄文             | 石囲炉、土坑、集石土坑、フラスコ状土坑、ピット、埋設土器、焼土土器、土製品、石器、石製品                              | 石川智紀            | 令和2年度以降     |
|                                          | 国道 49 号<br>阿賀野 BP  | 境塚<br>(Ⅳ)        | 阿賀野市百津字境塚 16-1 ほか | 4/22～<br>6/21  | 950        | 1,119            | 古墳<br>中世       | 掘立柱建物、井戸、土坑、溝、ピット<br>土師器、陶磁器、石製品、木製品ほか                                    | 石川智紀            | 令和2年度       |
|                                          | 国道 8 号<br>柏崎 BP    | 丘江<br>(Ⅷ)        | 柏崎市田塚 3 丁目        | 4/18～<br>11/22 | 16,077     | 9,370            | 弥生<br>中世       | 竪穴建物、掘立柱建物、水田区画、土坑、溝、ピット、木杭、河川跡<br>弥生土器、石器、土師器・陶器、石製品、木製品、金属製品            | 飯坂盛泰            | 令和2年度以降     |
|                                          | 国道 17 号<br>六日町 BP  | 六日町<br>藤塚<br>(Ⅲ) | 南魚沼市余川字藤塚         | 5/22～<br>9/14  | 2,448      | 2,006            | 古墳<br>古代       | 土坑、溝、櫛列、ピット、性格不明遺構ほか<br>土師器、須恵器、石製品（白玉）、土製品（丸玉）、木製品                       | 田中祐樹            | 令和2年度以降     |
|                                          |                    | 坂之上<br>(Ⅱ)       | 南魚沼市余川字坂之上        | 5/13～<br>7/11  | 1,098      | 735              | 古墳<br>古代       | 土坑、溝、櫛列、ピットほか<br>土師器、須恵器、石製品（白玉等）、石製模造品（剣形、鏡形、勾玉形）、金属製品（刀子等）、土製品（手捏ね土器）   | 田中祐樹            | 令和2年度以降     |
|                                          | 国道 253 号<br>上越三和道路 | 古屋敷割             | 上越市三和区上広田字古屋敷割    | 4/1～<br>11/27  | 11,000     | 11,027           | 古墳<br>古代<br>中世 | 掘立柱建物、杭列、井戸、土坑、溝、ピット、性格不明遺構、自然流路<br>土師器、須恵器、灰釉陶器、土師質土器、中世陶磁器、漆器、陶製品、木製品ほか | 湯原勝美<br>(関ノガミ)  | 令和2年度以降     |
|                                          |                    | 弥五郎              | 上越市三和区米子字谷地割      | 4/1～<br>11/30  | 3,260      | 3,138            | 古墳<br>古代       | 竪穴建物、土坑、溝、ピット、性格不明遺構<br>土師器、須恵器ほか                                         | 青木 誠<br>(関イビソク) | 令和2年度以降     |
|                                          |                    | 館                | 上越市駒林字館           | 8/5～<br>12/13  | 1,610      | 2,856<br>(次年度継続) | 古墳<br>古代<br>中世 | 井戸、溝、土坑、ピット、性格不明遺構<br>土師器、須恵器、青磁・青白磁、珠洲焼、越前焼、鉄製品（刀子等）、鉄滓、石製品（砥石等）、木製品（椀）  | 田中祐樹            | 令和2年度以降     |
| 合 計                                      |                    |                  |                   |                |            | 42,093           | 36,197         |                                                                           |                 |             |

### 2 本発掘調査遺跡 位置図



### 3 本発掘調査

#### 上野遺跡(Ⅲ) (7・8 頁)

事業名：国道7号朝日温海道路  
所在地：村上市猿沢・松原  
面積：5,946m<sup>2</sup>

#### 境塚遺跡(Ⅳ) (9 頁)

事業名：国道49号阿賀野バイパス  
所在地：阿賀野市百津字境塚 16-1 ほか  
面積：1,119m<sup>2</sup>

#### 丘江遺跡(Ⅷ) (10・11 頁)

事業名：国道8号柏崎バイパス  
所在地：柏崎市田塚3丁目  
面積：9,370m<sup>2</sup>

#### 六日町藤塚遺跡(Ⅲ) (12・13 頁)

事業名：国道17号六日町バイパス  
所在地：南魚沼市余川字藤塚  
面積：2,006m<sup>2</sup>

#### 坂之上遺跡(Ⅱ) (14・15 頁)

事業名：国道17号六日町バイパス  
所在地：南魚沼市余川字坂之上  
面積：735m<sup>2</sup>

#### 古屋敷割遺跡 (16・17 頁)

事業名：国道253号上越三和道路  
所在地：上越市三和区上広田字古屋敷割  
面積：11,027m<sup>2</sup>

#### 弥五郎遺跡 (18・19 頁)

事業名：国道253号上越三和道路  
所在地：上越市三和区米子字谷内割  
面積：3,138m<sup>2</sup>

#### 館遺跡 (20 頁)

事業名：国道253号上越三和道路  
所在地：上越市駒林字館  
面積：2,856m<sup>2</sup> (次年度継続)



# かみの 上野遺跡(Ⅲ)

事業名：国道7号朝日温海道路

所在地：村上市猿沢・桧原

面積：5,946㎡

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は高根川<sup>たかねがわ</sup>右岸の西から東へ緩やかに下る丘陵裾部に立地し、遺跡の中心部の現標高は約35～39mである。昨年度の調査区（今年度調査区の北側）では、縄文時代後期前葉（約4,000年前）を主体とした居住域と廃棄場を検出した。遺跡はこの居住域や廃棄場がある集落部と、その南側に広がる土石流などが堆積した砂礫部とに大きく分けることができる。今年度は砂礫部の調査が主体で、集落部は一部を調査した。

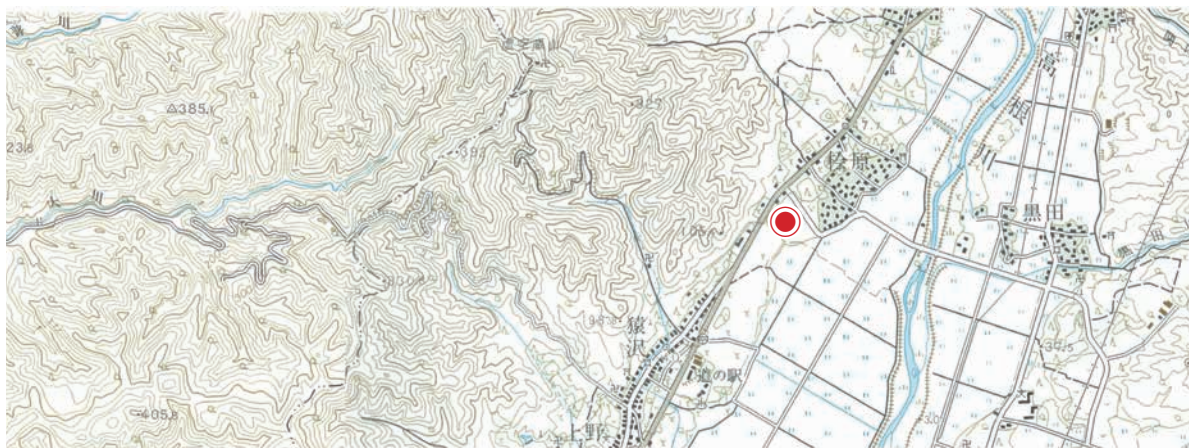


● 調査区全景（南東から）

■ 層序 表面を覆うⅠ層より下の層序は、集落部と砂礫部で大きく異なる。堆積状況は複雑な様相を示し、調査年度の状況によって基本層序の呼称を変更している。

今年度調査した集落部の一部は、昨年度調査した集落部の東側に位置し、東側に向かって緩やかに標高が下っている。今年度調査区では縄文時代後期前葉の遺物包含層が4層（面）確認され、一部を断ち割った結果、各層に対応した遺構を検出した。部分的な調査であることから、仮の層名を付して遺物等を取り上げた。包含層は黄褐色系（Y層）と黒褐色系（BK層）の層があり、上位からY1層、BK1層、Y2層、BK2層と仮称した。黄褐色系の層は砂礫も含むことから、山地由来の堆積層と考えられる。

縄文時代後期ごろの砂礫部は、集落部と比べて一段低くなっており、その後の土石流や河川などで運ばれた土砂（砂礫）によって、完全に埋没していた。表土層（Ⅰ層）より下位を、過年度調査の層名と重複しないように、E1～8層（群）に大別した。各層（群）内には土質・色調が異なる層が複数層存在することから、長期間にわたって繰り返し堆積したものと思われる。ほぼ全ての層位に縄文時代後期の遺物が含まれるので、集落部（居住域や廃棄場）を巻き込みながら流れてきたことが分かる。また、全域で縄文時代後期より後の地震による噴砂、断層、歪みなどの堆積層の乱れも認められた。



● 位置図（1：50,000）（国土地理院発行5万分の1地形図 平成15年発行「塩野町」平成10年発行「村上」）

E1～3層は、砂礫とシルトの互層が主体の層で、従来調査では「土石流堆積物」と呼称していた。この堆積物は調査区北西側の山地の崩落に由来するもので、明黄褐色の花崗岩質の礫を主体とするが、供給源となった露頭の形成状況を反映して礫の摩耗度合が異なる。E2層は砂礫が主体で、広範囲に堆積が認められる。含まれる礫のサイズが他層と比較して一番大きく、また遺物も多く含む。E4・5層はシルトを主体とする層だが、山地由来の土砂・砂礫層が混在する。E6～8層は河川による堆積物が主体と考えられるが、遺物が部分的に含まるので、山地由来と河川由来の相互の影響下にあったものと思われる。

■ 遺 構 集落部はY1層のみを調査し、石囲炉2基、土坑1基、集石土坑1基、ピット（小穴）23基、埋設土器3基、焼土9か所を検出した。石囲炉や焼土は建物を伴うものと考えられるが、竪穴建物のような床面掘り込みは検出できなかった。砂礫部でも少数だが、E4層中で土坑1基、フラスコ状土坑1基、ピット3基、埋設土器1基を検出した。砂礫が繰り返し流入する中でも一時的に安定した時期があり、その間の活動痕跡と思われる。また、フラスコ状土坑の底部が層境で横滑りしていたことから、遺跡廃絶後から現代までに大規模な地形変動があったことがうかがえる。

■ 遺 物 遺物は土器・石器・土製品・石製品が、収納箱（箱の内寸54×30×10cm）で約300箱出土した。土器の型式は、新潟県の縄文時代後期初頭から前葉の遺跡に広く分布する、三十稲場式と南三十稲場式が主体である。土器の時期幅が少ないことから、時期比定が困難な他の遺物の時期を決める参考となる。また小型土器の装飾（ハート形顔面突起）や赤彩された土製垂飾品など、希少な遺物も出土した。特に土製垂飾品は、約7.5km南に離れた村上市長割遺跡出土品と形態・サイズ・赤彩などが共通している。同じ三面川水系に立地する遺跡であり、両遺跡の強い交流関係が窺える。

■ まとめ 上野遺跡は縄文時代後期初頭から前葉の大規模集落である。今年度の調査範囲は集落部の周辺に位置するが、砂礫が繰り返し流入する中でも一時的な利用が認められ、当時の景観や土地利用を考える上で重要な成果と考える。また、地形を埋没させる砂礫の堆積や地震の痕跡など、当地域の形成史及び災害史を知る上でも多くの情報を得ることができた。

（石川智紀）



● 砂礫部の堆積状況（南西から）



● 砂礫部のフラスコ状土坑（南から）



● 河川の検出状況（南から）



● 土製垂飾品とハート形顔面突起



# 境塚遺跡(Ⅳ)

事業名：国道 49 号阿賀野バイパス

所在地：阿賀野市百津字境塚 16-1 ほか

面積：1,119㎡

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は阿賀野川右岸に位置し、江戸時代まであった旧百津潟（阿賀野川旧河川跡）に隣接する自然堤防上に立地する。令和元年度の調査区の現標高は約 7.0～7.2m である。第 4 次の本発掘調査で、調査区が 4 か所に分かれることから、それぞれ L～O 区と仮称した。各調査区で中世を中心とした遺構・遺物を検出し、M 区で古墳時代前期の遺構・遺物を検出した。

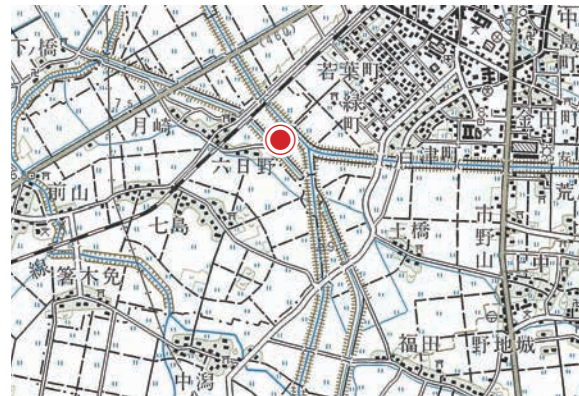
■ 層 序 基本層序は過年度調査で I～Ⅶ層に分層され、上層（古代～中世）、中層（古墳時代）、下層（縄文時代晩期）の遺構・遺物が検出されている。今年度は各調査区で上層、M 区で中層を確認したが、下層は検出できなかった。I 層：表土・水田耕作土。Ⅱ層：黄灰色シルト。近世以降～昭和以前の耕作土。Ⅲ層：褐灰色シルト。上層の遺物包含層。Ⅳ層：黄褐色シルト。上面が上層の遺構検出面。Ⅴ層：黄褐色シルト。中層の遺物包含層。Ⅵ層：黄灰色シルト。下層の遺物包含で上面が中層の遺構検出面。

■ 遺 構 上層の遺構は各調査区を合わせて、掘立柱建物 7 棟、土坑 18 基、井戸 1 基、ピット 183 基、溝 21 条を検出した。井戸は井戸側（曲物）が一部残存していた。溝は昭和初期の更正図区画とほぼ一致するものがある。中層の遺構は M 区のみが存在し、土坑 2 基、ピット 2 基、溝 1 条を検出した。

■ 遺 物 上層の遺物は出土量が少ないが、土師質土器皿・小皿、珠洲焼、珠洲・瓷器系陶器、瀬戸・美濃焼、青磁などが出土した。土器類以外では木製品（曲物、杭）、石製品（砥石・石鉢）、金属製品がある。中層の遺物は古墳時代前期のもので、M 区でまとまって出土した。器種は高坏・器台・鉢・壺・甕があり、当地域の土器様相を知るための貴重な資料が得られた。

■ まとめ 境塚遺跡の範囲は、北西～南東方向で長さ約 400m にわたる。過去の調査成果から、中世（13 世紀後半から 15 世紀前半）を主体とする遺跡で、居館エリア、流通エリア、町場エリアで構成されていたと考えられている。令和元年度調査区では、L・M 区が流通エリア、N・O 区が町場エリアと近接し、調査した遺構・遺物の様相は、その想定された景観を補完するものである。

（石川智紀）



● 位置図（1：50,000）  
（国土地理院発行 5 万分の 1 地形図 平成 9 年発行「新津」）



● 調査区全景（南東から）



● 中世の井戸（SE6006）断面（南西から）



# おかえ 丘 江 遺 跡 (Ⅷ)

事業名：国道 8 号柏崎バイパス

所在地：柏崎市田塚 3 丁目

面 積：9,370㎡

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は、柏崎平野の中央西寄り、鯖石川左岸の標高約 6.5～7m の沖積扇状地の末端に位置する。調査は平成 26 年度から継続中で、これまで調査対象範囲の南側が鎌倉～安土桃山時代の中世集落の居住域で、中央より北側は当時の水田域であることが明らかになっている。また、水田域側の下層で縄文時代後期の遺物、弥生時代後期の遺物を含む流路、平安時代の遺構・遺物を確認している。令和元年度は、水田域の一面を対象

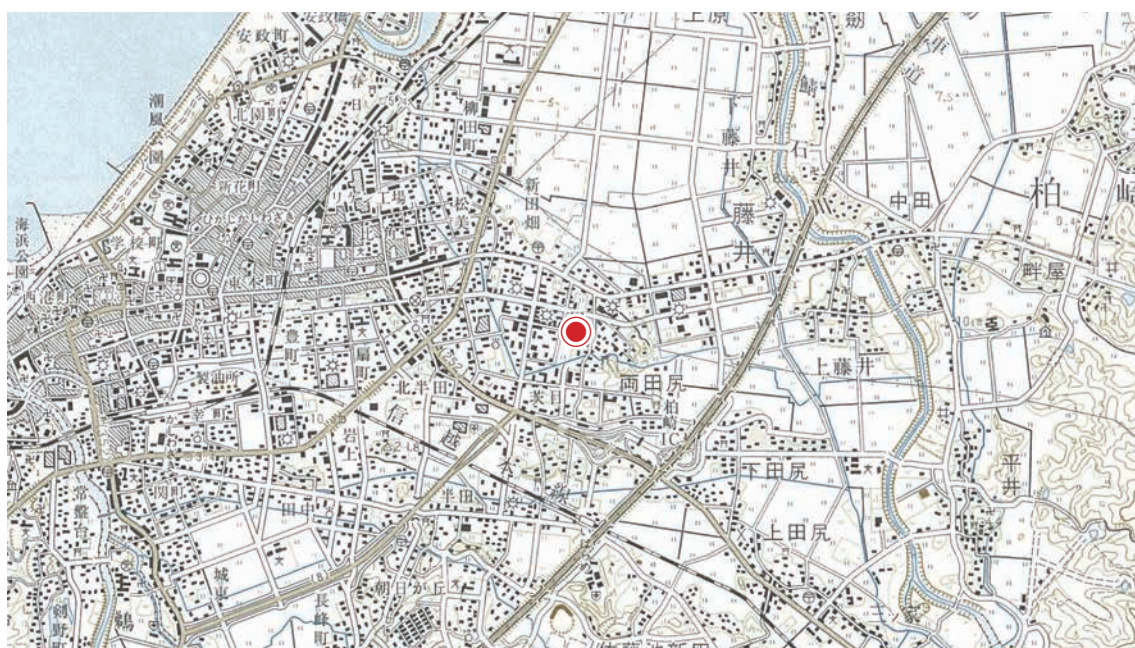


● 調査区全景（上空北から）

とした。遺構面は上層・中層・下層の 3 面あり、上層は安土桃山時代、中層は室町時代、下層は鎌倉～室町時代、弥生時代後期である。調査面積は延べ 9,370㎡（上層 4,661㎡、中層 2,399㎡、下層 2,310㎡）である。

■ 層 序 基本層序は、これまでの調査成果に準拠しⅠ～Ⅳ層に分層した。Ⅰ層：灰色粘土（表土）、Ⅱa 層：黒褐色粘土（上層の水田耕作土）、Ⅱb 層：オリーブ灰色シルト（上面が上層の遺構検出面、中層の水田面を覆う）、Ⅲ層：黒色粘土（上面が中層の遺構検出面、下層水田の耕作土）。Ⅳ層は明青灰色粘土（上面が下層の遺構検出面、一部で上位に炭化物粒が混じる弥生時代後期の遺物包含層が堆積する。）

■ 遺 構 遺構は、上・中・下層面で中世の水田の畦畔・溝を検出した。下層面では、ほかに中世の井



● 位 置 図（1：50,000）

（国土地理院「柏崎」平成 19 年発行）



戸・土坑、弥生時代後期の土坑・流路を検出した。中世初期の水田は、半埋没状態の弥生時代からある流路を埋め立てし、旧流路と段丘上の地形を考慮した水田区画を築いている。中・下層面の区画はほぼ同じであるが、区画規模が小から大への変化が見られる。上層の水田は、以前の区割を踏襲しつつ、東西－南北方向を意識したさらに広い区画になる。また、上層で検出した東西方向の溝は木杭を打って堰を設けている。弥生時代後期の流路は南北方向の流路とこれに合流する東西方向の流路を検出した。

■ 遺 物 縄文時代、弥生時代後期、平安時代、鎌倉時代・室町時代・安土桃山時代の中世の遺物が出土した。縄文時代は石鏃が出土した。弥生時代後期では高杯・器台・甕・鉢・蓋などの土器、緑色凝灰岩と鉄石英を素材にした管玉未成品、砥石などが出土した。平安時代の遺物は、土師器の長甕 1 個体が潰れた状態で出土した。中世の遺物は土師質土器、珠洲焼・瀬戸美濃焼・青磁・唐津焼・越中瀬戸焼などの陶磁器、石製品（砥石）・金属製品（羽窯・小柄）・銭貨（開元通寶・熙寧元寶・洪武通寶）などが出土した。

■ まとめ 遺跡は鶴川荘安田条にあり、当地を領有していた毛利安田氏の関わりが考えられている。2017 年度から継続して集落の北側に広がる水田域の発掘調査を行っており、鎌倉から安土桃山時代まで続く水田の広がりの様相がさらに明らかとなった。弥生時代後期は、流路から多量の土器が出土し、平成 30 年度の調査でも竪穴建物を検出していることから集落の存在が窺える。

（飯坂盛泰）



● 中 層 の 水 田（北東から）



● 唐津焼の出土状況（東から）



● 下層の水田と流路（北から）



● 弥生時代の遺物出土状況（南東から）



## 六日町藤塚遺跡(Ⅲ)

事業名：国道 17 号六日町バイパス

所在地：南魚沼市余川字藤塚

面積：2,006㎡

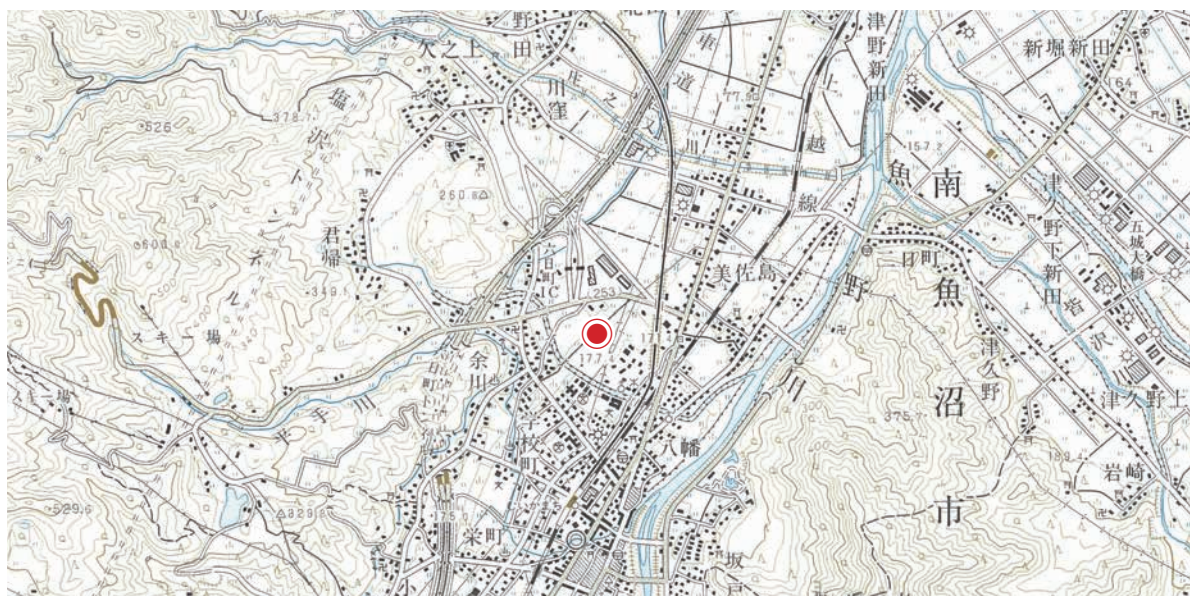
■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は南魚沼市余川字藤塚に所在し、魚野川左岸の庄ノ又川の扇状地に立地する。調査は2層調査を主体に、部分的に3層調査を実施している。時期は平安時代(最上層)、古墳時代後期前半(上層)、古墳時代中期末から後期初頭(下層)である。調査区は、調査工程によって、平成30年度調査区を拡張したH区、市道、農道下部分のG区を設定した。いずれの調査区も過去二か年度の調査区に隣接している。標高はG区最上層が179.3m、G区上層が179.1m、G区下層が178.8mである。



● 調査区全景(北東から)

■ 層序 基本層序は平成29・30年度の基本層序を参照し、Ⅰ～ⅩⅢ層に分層した。遺物包含層は最上層のⅣ層(平安時代)、上層のⅨ層(古墳時代後期前半)、下層のⅩⅡ層(古墳時代中期末～後期初頭)である。上層は、昨年度調査成果から、上位と下位に区分できることから、可能な範囲で分層して調査を実施した。Ⅴ層は大中の礫と砂・シルトを主体とする土石流堆積層を一括している。ⅩⅢ層以下は土石流堆積土で、平成30年度の調査では、ⅩⅢ層以下から古墳時代前期の年代を示す樹木を検出している。

■ 遺構 遺構分布はG区が中心で、H区は非常に希薄である。最上層の遺構は、ピット3基をⅣ層上面で検出した。上層の遺構検出面はⅨ層上位上面、Ⅸ層上位下面、Ⅸ層下位下面で、平地建物・掘立柱建物・溝・土坑・ピット・柵列・焼土遺構・土器集中遺構を検出した。下層の遺構検出面はⅩⅡ層下面で、掘立柱建物・溝・自然流路・ピット・土器集中遺構を検出した。掘立柱建物は、2間×3間以上の総柱構



● 位置図(1:50,000)

(国土地理院「十日町」平成20年発行)



造の掘立柱建物を少なくとも2棟検出した。土器集中は、掘立柱建物付近で検出される傾向があることから、廃絶した建物付近に土器等を廃棄した可能性がある。

■ 遺物 最上層の遺物は少量で、土師器・須恵器が包含層中から出土した。上層の遺物は土器集中遺構を中心に、土師器・須恵器・白玉・丸玉が出土している。土器集中遺構では、須恵器杯・土師器碗・高杯・甕が破片状態で出土しているほか、白玉や丸玉といった微小遺物も含まれている。下層では、これまでの調査同様に須恵器杯の完形品をはじめとする、完形率の高い遺物が多い傾向が窺える。また、上層及び下層では、小グリッド(2×2m)の中央から0.5m<sup>2</sup>の土壌サンプルと焼土を採取し、洗浄作業を実施した。その結果、白玉・土製丸玉・炭化種実・焼骨片などの微細遺物を検出した。

■ まとめ 上層及び下層で検出した総柱構造の掘立柱建物は、居住用の建物ではなく倉庫の可能性があり。平成30年度の調査で検出した周堤帯が残る竪穴建物、平地建物を含め、上層における集落域の様相がある程度把握することができた。一方、下層では、過去の調査で確認されていない掘立柱建物が存在することが明らかとなった。これまでの調査結果から指摘されている「祭祀の場」から「集落」への変遷について、その具体的なあり方を再検討する必要がある。

(田中祐樹)



● 上層 焼土遺構



● 上層 総柱構造の掘立柱建物（南から）



● 上層 須恵器杯を伴う土器集中



● 最下層 須恵器杯出土状況



# さかのうえ 坂之上遺跡(Ⅱ)

事業名：国道 17 号六日町バイパス

所在地：南魚沼市余川字坂之上

面積：735㎡

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は南魚沼市余川字坂之上に所在し、魚野川左岸の庄ノ又川によって形成された扇状地に立地する。調査は奈良・平安時代（上層）と古墳時代後期前半（下層）の 2 層調査で、標高は前者が 181.3m、後者が 180.3m である。調査区は南に下がる緩斜面で、北東側には平成 30 年度に発掘調査を実施した調査区、南西側には六日町藤塚遺跡がある。調査区西側は、近世以降の土石流によって上層の包含層が削平されていた。六日町藤

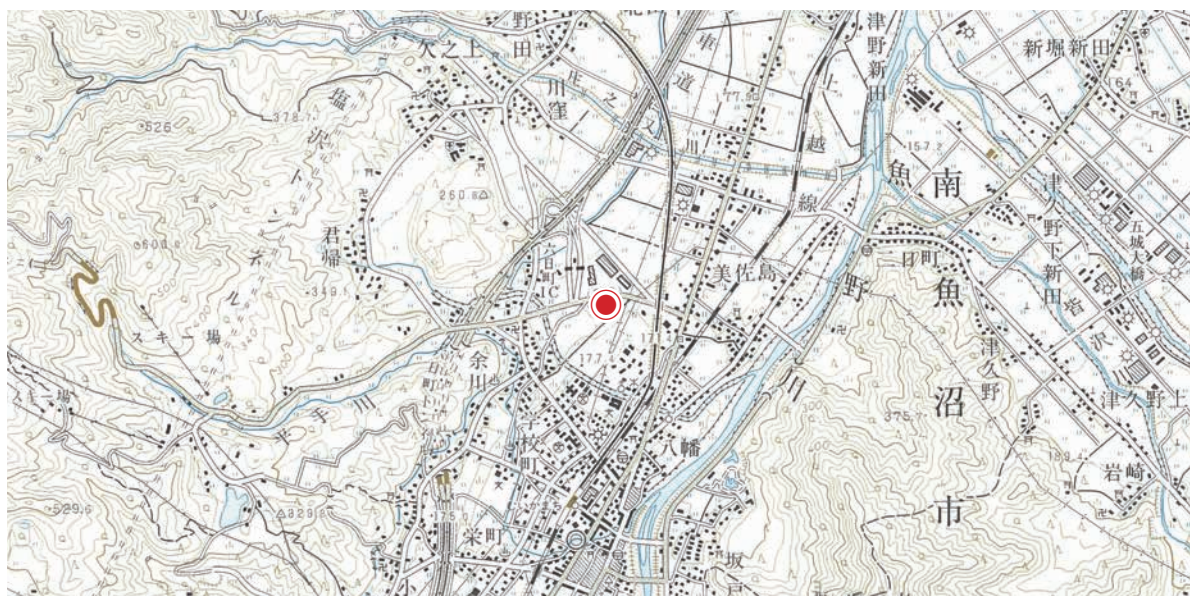


● 調査区全景（南東から）

塚遺跡との層序対比並びに平成 30 年度の調査結果から、古墳時代中期末～後期初頭の包含層が存在する可能性があったため、下層の調査完了後に、重機によるトレンチ掘削を実施し、遺構・遺物がなかったことから調査を終了した。

■ 層序 基本層序は、平成 30 年度の調査成果及び、近接する六日町藤塚遺跡を参考に、Ⅰ～Ⅺ層に分層した。遺物包含層は上層のⅣ層（奈良・平安時代）、下層のⅨ層（古墳時代後期前半）である。Ⅴ層とⅪ層直下層は礫や砂を含む土石流堆積土である。上層の検出面は基本的にⅣ層下面であるが、Ⅳ層中にプランが確認できた場合はその面を検出面とした。下層はⅨ層中及び、Ⅸ層下面を検出面とした。

■ 遺構 上層は、畝状小溝 11 条、自然流路 1 条、土坑 2 基、ピット 84 基、柵列 1 列を検出した。ピットは、その多くが掘立柱建物を構成すると考えられる。ピット覆土にⅣ層包含層由来土が含まれるもの



● 位置図（1：50,000）

（国土地理院「十日町」平成 20 年発行）



と、Ⅲ層由来の砂質シルト土が含まれるものがあり、時期差があることが判明している。下層ではピット 219 基、性格不明遺構 1 基を検出した。ピットは、そのほとんどが調査区西中央部の約 10m 四方の限られた範囲で検出している。ピットの大半は柱痕が残るものだが、径が細いものや斜めに掘り込まれたものも多く、建物を構成する柱穴ではない可能性が高い。ピット群の周辺には土師器高杯や碗、石製模造品を意図的に配置した「土器集積」を検出していることから、一連のピット群は何らかの祭祀行為の痕跡と考えられる。

■ 遺 物 上層は土師器甕・須恵器（甕・碗）、敲石が出土した。遺物は包含層出土を主体とし、遺構からは自然流路からの出土が目立つ程度である。平成 30 年度の調査区同様、北側緩斜面の遺物が流れ込んでいと考えられる。下層は土器集積遺構を中心に出土している。土器集積遺構からは土師器（碗・高杯・壺・甕）・石製模造品（剣形・勾玉形・鏡形）、手づくね土器・鉄鏃・刀子・白玉が出土した。とりわけ高杯の比率が高く、上下を反転させて配置したものや杯部に甕を載せたものなどがある。下層では、小グリッド（2×2m）の中央から 0.5m<sup>2</sup> の土壌サンプルを採取し、洗浄作業を実施した。その結果、白玉・丸玉・炭化種実などの微細遺物を検出した。

■ まとめ 上層で確認した掘立柱建物と畝状小溝の配置状況は、隣接する平成 30 年度調査区と連続するものではないことから、集落単位としては異なるものと考えられる。下層のピット群とそれに伴う土器集積遺構は、類例が確認できず、具体的な性格については慎重にならざるを得ないが、須恵器を伴う祭祀がみられる余川中道遺跡、六日町藤塚遺跡とは異なる祭祀形態といえる。古墳時代中期から後期にかけて祭祀行為のあり方が変容した可能性があり、さらなる検討を要する。（田中祐樹）



● 上層 ピット群と畝状小溝（南東から）



● 下層 ピット群と土器集積



● 下層 土師器碗と石製模造品



● 下層 ピット群から八海山を望む（南西から）



# ふるや しき わり 古 屋 敷 割 遺 跡

事業名：国道 253 号上越三和道路

所在地：上越市三和区上広田宇古屋敷割

面 積：11,027㎡

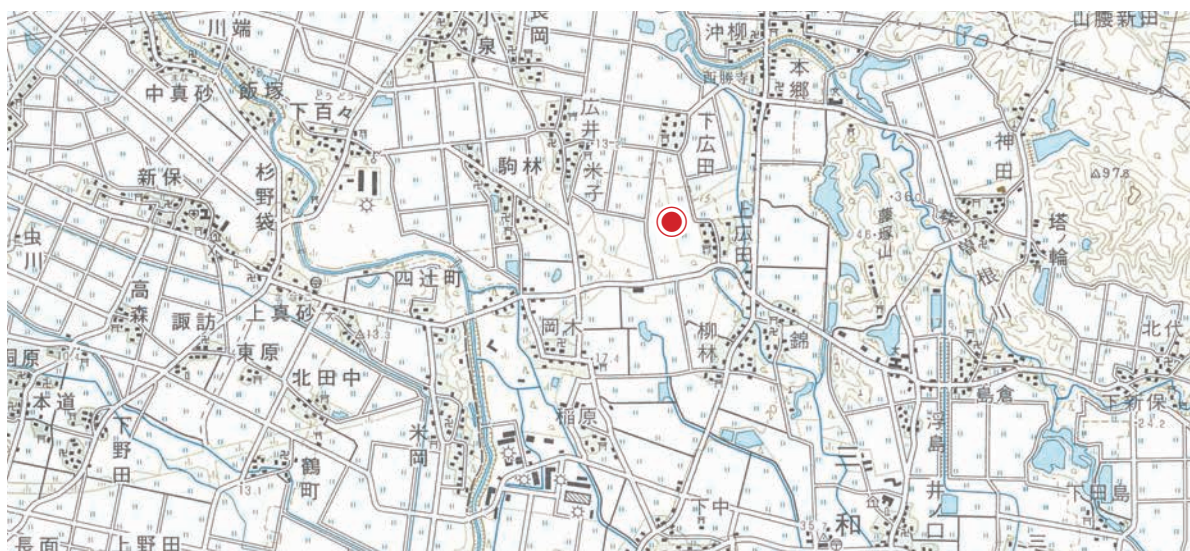
■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は、高田平野の東部、保倉川の支流である桑曽根川と飯田川の間位置し、標高 13～14m の沖積地に立地する。調査区のほぼ中央を農道が縦断して二分していることから、南西側を 1 区、北東側を 2 区と呼称し、1 区から 2 区の順で調査を行った。両区とも基本的に 1 層調査であるが、1 区の南西側だけ、古墳時代の遺物を包含する下層（基本層序Ⅳ・Ⅵ層）について部分的に 2 層調査を実施した。下層からは散発的な遺物の出土だけで遺構は検出されなかった。調査面積は、上層 10,587㎡、下層 440㎡である。



● 調査区全景（2区、南西から）

■ 層 序 基本層序はⅠ～Ⅵ層に分層した。両区とも、Ⅰ層からⅢa層までは共通であるが、それ以下の層については場所によって堆積状況が異なる。古墳時代後期から室町時代にかけての遺構は、Ⅲa層の上面で検出した。前述した古墳時代の遺物をわずかに含むⅣ・Ⅵ層は、地形的に低くなる 1 区の中央から南西側に限定的に堆積する。

■ 遺 構 古墳時代後期から室町時代にかけての遺構を検出した。遺構は、掘立柱建物 4 棟、柵 1 列、井戸 34 基、土坑 19 基、溝 49 条、自然流路 1 条、性格不明遺構 2 基、ピット 84 基である。古墳時代の遺構は、水路と考えられる長い溝と自然流路で、量的にはわずかであるが、須恵器ハソウを含む後期の遺物が出土している。平安時代では、2 区から掘立柱建物 4 棟を中心とする集落を検出した。ほかに 1 区を中心に水路と考えられる溝を 10 数条検出した。このうち、もっとも大規模なのは溝 SD62 で、大き



● 位 置 図（1：50,000）

（国土地理院発行 5 万分の 1 地形図 平成 19 年発行「高田東部」）



さは長さ 42.0m 以上、上幅 2.3～9.6m、深さ 0.7～0.8m である。大量の水が流れていたと想定されることから、水源から続く幹線水路の可能性はある。溝 SD57 と溝 SD59 は、ここから取水して分岐している。鎌倉・室町時代では、建物は確認できなかったが、2 区から井戸や土坑を検出しており、これらは隣接して存在する集落の一部と考えられる。ほかに水路と考えられる溝をいくつか検出した。

■ 遺 物 古墳時代の遺物はわずかであるが、土師器高杯・甕、黒色土器杯、須恵器甕・ハソウなどが出土した。このうち須恵器ハソウは、自然流路 SR213 から約 2 個体分が破片で出土している。いずれも後期の遺物と考えられる。なお、1 区の下層調査で出土した基本層序Ⅳ・Ⅵ層の遺物は、土師器甕の破片だけで時期の詳細については不明である。平安時代の遺物は、土師器碗・皿・甕・小甕、黒色土器碗、須恵器杯・杯蓋・甕、灰釉陶器碗・小碗・皿、灯明皿、風字硯、鉄製品、鉄滓、砥石、土師質土器碗・小型碗・小皿などが出土した。このうち風字硯は、硯面の中央に縦方向の凸帯をつけ、硯面を左右二つに分けた二面硯である。遺物の時期は 9 世紀から 12 世紀と幅広い。また、ピット P145 からは、土師質土器小皿を二枚合わせ口にしたものが出土した。平安時代末頃の遺物で、土地に関わる祭祀にともなって埋められた可能性が考えられる。鎌倉・室町時代では、土師質土器小皿、青磁碗、珠洲焼片口鉢・甕・壺、茶臼、石臼、石鉢、連歯下駄、杓子、羽口、鉄滓などが、主に井戸から出土している。

■ まとめ 2 区からは、平安時代から室町時代にかけて断続的に営まれた集落を検出した。また、1・2 区のほぼ全域から、調査区を縦横断して延びる長い溝を多数検出した。これらの溝は、古墳時代後期から室町時代にかけて造られたもので、そのほとんどが灌漑のための用水路と考えられる。調査区内には水田などは確認されておらず、用水の供給先はさらに海側にあるものと推測される。

(株式会社ノガミ 湯原勝美)



● 調査区全景（真上から、左が 1 区で右が 2 区、合成写真）



● ピット P145 遺物出土状況（南東から）



● 井戸 SE179 遺物出土状況（南西から）



# やごろう 弥五郎遺跡

事業名：国道 253 号上越三和道路

所在地：上越市三和区米子字谷内割

面積：3,138㎡

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は高田平野の東部上越市三和区米子字谷内割に所在し、東を米山、西は妙高山を望み飯田川と桑曽根川に挟まれた沖積地に立地している。標高は約 15m～16m である。上層で平安時代の遺構を少数検出したが、遺跡の中心は下層の古墳時代前期の集落である。調査区は農道と水路により分断されることから、西から 1 区・2 区・3 区と呼称した。

■ 層 序 基本層序は、Ⅰ～Ⅶ層に分層した。Ⅰ・Ⅱ層は近世から現代の堆積層である。Ⅲ層が平安時代～中世（上層）の遺構検出面である。Ⅳ層は試掘調査時に遺物包含層・遺構検出面とされていたが、今回の調査では遺物はごくわずかであり、遺構も見られなかった。Ⅴ層が古墳時代前期（下層）の遺構検出面である。遺物や炭化物などの分布範囲を遺構とした。Ⅵ・Ⅶ層は青灰色シルトが堆積した地山である。

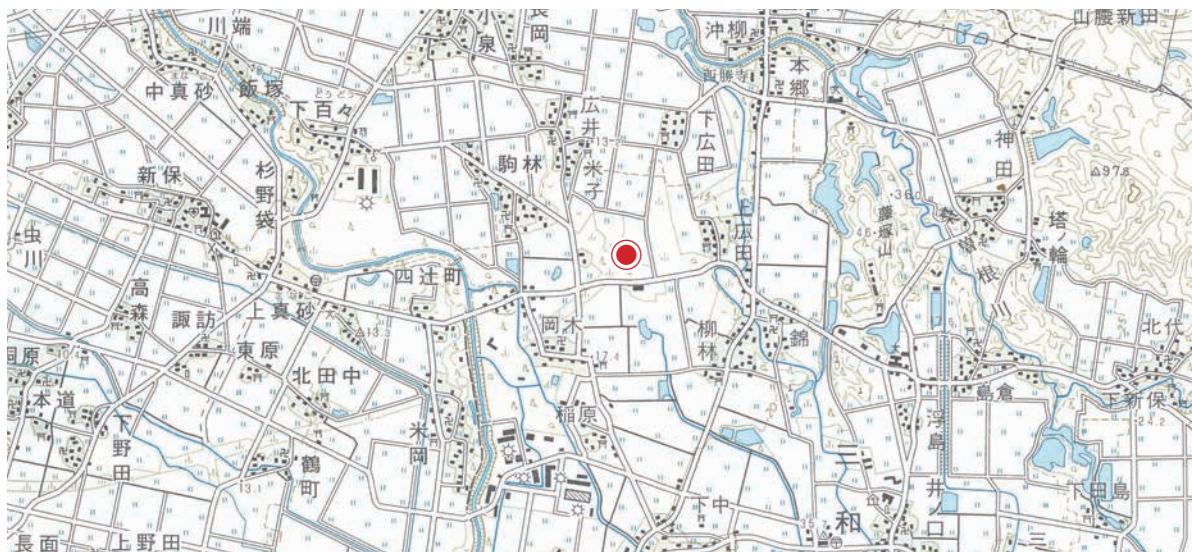
■ 遺 構 上層の平安時代の遺構は溝 1 条、ピット 5 基、井戸 1 基、時期不明の遺構は溝 8 条ピット 7 基である。下層の古墳時代前期の



● 調査区近景（南西から）



● 2 区 全 景（真上から）



● 位 置 図（1：50,000）

（国土地理院発行 5 万分の 1 地形図「高田東部」平成 19 年発行）



遺構は竪穴建物 6 棟、性格不明遺構 29 基、溝 1 条、土坑 17 基、ピット 31 基の計 84 基である。

古墳時代の遺構は上面が削平されており、検出面からの残存深度は約 5cm であった。遺物と炭化物の分布範囲を遺構としているが、特に密に分布しているものを性格不明遺構、炉が伴うものを竪穴建物としている。竪穴建物や性格不明遺構の形態は不整な円形や楕円形、方形が多く、掘形は不明瞭である。内部に柱穴や溝・ピット・土坑などを検出したものは一部にとどまり、構造なども不明な点が多い。

■ 遺 物 遺物はほとんどが遺構内からの出土である。上層の平安時代の遺物は土師器・須恵器のほか羽釜が出土している。須恵器有台杯には、底部に墨書が見られるものもあるが判読不明である。

下層の古墳時代前期の遺物は、土師器の甕・壺・高坏・器台・有孔鉢・ミニチュア土器、管玉で、炭化米の可能性がある種子がわずかに出土している。SI069 の炉からは、口縁部から頸部までを意図的に切り取ったとみられる土師器の壺が出土している。受け口状の有段口縁と直立気味の頸部、凸帯の特徴から東海系の可能性がある。

■ まとめ 上層の平安時代の遺構は、調査区のごく一部で確認された。しかし、西に隣接する館遺跡の調査成果から、弥五郎遺跡の範囲は館遺跡から続く集落の東端になる可能性がある。

下層の古墳時代前期の集落は、平成 16・24・27 年の試掘・確認調査で 2 区の南東側に遺構・遺物を多く確認していることから、今回の調査区南東側にさらに範囲が広がる可能性が高い。なお、遺構から出土した炭化物について C14 年代測定を実施した結果、概ね 3～4 世紀の結果が得られており、遺物の年代と符合する。

(株式会社イビソク 青木 誠)



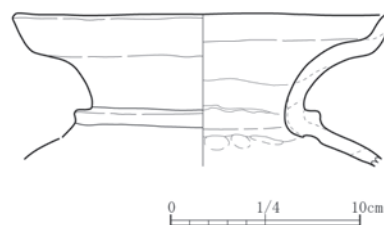
● 基本層序



● SI069 (北西から)



● SK167 遺物出土状況 (南東から)



● SI069 土師器壺実測図



# たて 館 遺 跡

事業名：国道 253 号上越三和道路

所在地：上越市駒林字館ほか

面 積：2,856㎡（次年度継続）

■ 遺跡の立地と調査の概要 遺跡は上越市駒林、三和区岡木に所在し、保倉川支流の桑曾根川と飯田川に挟まれた微高地上に立地する。時期は古代～中世（最上層）、古墳時代～古代（上層）、古墳時代前期（下層）である。標高は最上層が 15.8m、上層が 15.7m、下層が 14.8m である。

■ 層 序 基本層序はⅠ～Ⅶ層に分層した。遺物包含層は最上層のⅡ層（古代～中世）、上層のⅢ層（古墳時代～古代）、下層のⅥ層（古墳時代前期）である。最上層と上層は、試掘調査では分層していないが、今年度調査の結果、文化層が異なることが判明した。また、下層は試掘結果では調査対象としていなかったが、Ⅵ層から古墳時代前期の遺物が出土したことから調査対象とした。

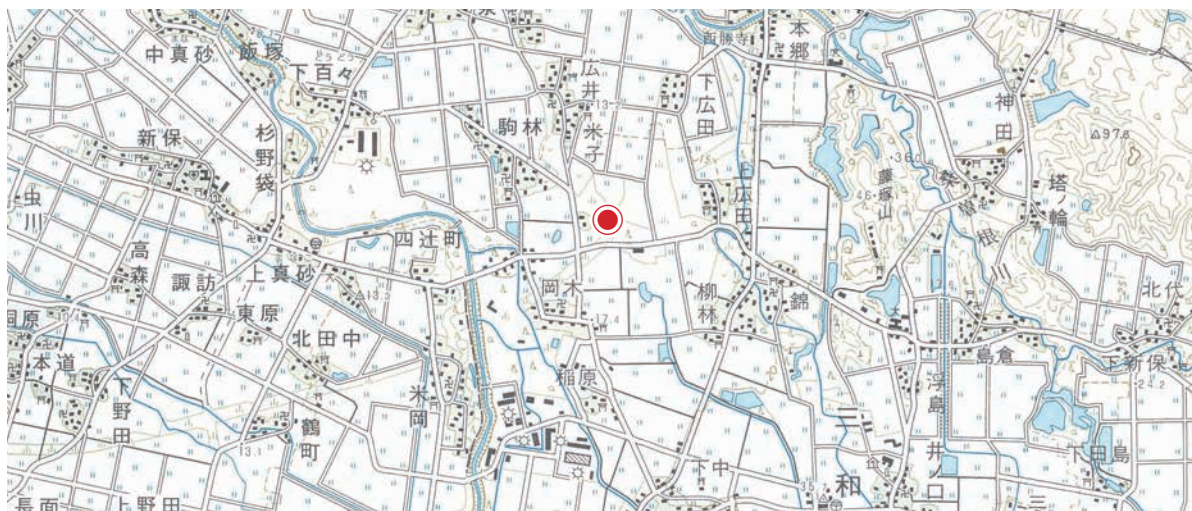
■ 遺 構 遺構は、掘立柱建物 2 棟以上・井戸 3 基・溝 41 条・土坑 1 基・ピット 116 基・性格不明遺構 1 基を検出しているが、調査は令和 2 年度も継続するため増減が見込まれる。掘立柱建物を構成するピットは方形基調のものと円形基調のものがあり、前者が古代に後者が中世に帰属する可能性が高い。調査区を南北に横断する大溝は、現在の大字境（上越市駒林・三和区岡木）と重複することから区画溝の可能性はある。

■ 遺 物 包含層が希薄なため、出土遺物は少量である。井戸や溝を中心に古代～中世の遺物が混在している。須恵器は小泊産が主体だが、在地産（末野窯跡群）と考えられるものも定量みられる。古墳時代の遺物は、開渠から中期前半の高杯が出土している。

■ まとめ 本遺跡は、古代～中世にかけて断続的に営まれた集落と考えられる。調査は令和 2 年度も継続して実施する予定であり、集落景観の復元とその変遷を明らかにすることが期待される。（田中祐樹）



● 調査区全景（東から）



● 位 置 図（1：50,000）

（国土地理院「高田東部」平成 19 年発行）

## 4 整理・報告作業

令和元年度の整理作業（基礎整理含む）は、当該年度に発掘調査を行った 8 遺跡を含めて 11 遺跡で実施した。このうち、事業団職員が埋文センターで作業したのは、上野遺跡（第 2 次調査）、余川中道遺跡（第 4・5 次調査）で、丘江遺跡（第 7 次調査）・工田遺跡は発掘調査を実施した㈱大石組に委託し、事業団職員が監理にあたった。山口遺跡Ⅱは平成 30 年度に編集作業までほぼ終了し、最終確認を経て印刷・刊行した。整理作業は、図版作成や編集作業のデジタル化（編集業者委託）と PDF データからの印刷で作業の効率化を図っている。

**上野遺跡**（村上市）：上野遺跡は村上市に所在し、国道 7 号朝日温海道路建設に伴い、平成 30 年度に実施した 2 年度目の発掘調査の整理作業を今（令和元）年度実施した。時期は縄文時代後期前葉で、遺物出土量は、約 900 箱（浅箱換算）あり、注記作業から開始した。その後、グリット・層位別に分類し、土器の接合復元作業を行った。復元土器は、約 100 点である。

**余川中道遺跡Ⅲ**（南魚沼市）：国道 17 号六日町バイパス建設に伴い、平成 26・29 年度に発掘調査を実施した。中世・古代・古墳時代の遺跡で、中世の居住域、古代の水田、古墳時代の水田および祭祀関連の場を検出した。平成 30 年度から整理作業を進め、今年度は原稿執筆、遺物の写真撮影、自然科学分析、編集作業などを行い、報告書を刊行して作業を完了した。

**丘江遺跡Ⅶ**（柏崎市）：国道 8 号柏崎バイパス建設に伴い、平成 30 年度に発掘調査を実施した。中世を主体とする集落遺跡で掘立柱建物・井戸・土坑・溝などを検出した。遺物は土器・陶磁器類のほか茶臼、砥石などの石製品、漆器碗や曲物、筆などの木製品が出土している。遺物の接合や実測、遺構図の修正、原稿執筆や各種図版を作成し報告書を刊行した。

**工田遺跡**（魚沼市）：国道 17 号浦佐バイパス建設に伴い、平成 30 年度に発掘調査を実施した。中世を主体とする生産遺跡で畦畔や溝・水口などの水田遺構やこれに伴う杭列を検出した。遺物は珠洲焼や容器などの木製品が少数出土した。遺物の実測、遺構図の修正、原稿執筆や各種図版を作成し報告書を刊行した。

## 5 令和元年度刊行報告書

| シリーズNo.<br>発行日      | 報告書名<br>所在市町村                | 体裁<br>頁数      | 事業名                      | 調査<br>年度    | 種別                            | 主な<br>時代                  | 主な遺構                                                                           | 主な遺物                                                                      | 担当者            |
|---------------------|------------------------------|---------------|--------------------------|-------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 第 286 集<br>R2.03.19 | 山口遺跡Ⅱ<br>第 2・3 次調査<br>阿賀野市   | A4 版<br>313 頁 | 国交省<br>国道 49 号<br>阿賀野 BP | H22・<br>H25 | 散布地                           | 縄文<br>晩期                  | 土器集中 1                                                                         | 縄文土器、石器（石鏃、石核）                                                            | 石川智紀           |
|                     |                              |               |                          |             | 散布地                           | 弥生<br>前期                  | 竪穴建物 1                                                                         | 弥生土器                                                                      |                |
|                     |                              |               |                          |             | 集落跡                           | 古代                        | 竪穴建物 2・掘立柱建物 32・櫓 1・材木列塀 1・井戸 19・土坑 70・焼土遺構 7・性格不明遺構 6・溝 35・ビット 944（建物・櫓の柱穴含む） | 須恵器・土師器・灰釉陶器・唐三彩・土製品・石製品・金属製品・木製品                                         |                |
|                     |                              |               |                          |             | 集落跡                           | 中世                        | 掘立柱建物 15・井戸 24・土坑 13・溜池状遺構 1・性格不明遺構 4・溝 41・ビット 906（建物の柱穴含む）                    | 土師質土器・瀬戸・美濃焼・珠洲焼・白磁・青磁・瓦器・石製品・金属製品・木製品                                    |                |
| 第 287 集<br>R2.03.19 | 余川中道遺跡Ⅲ<br>第 4・5 次調査<br>南魚沼市 | A4 版<br>355 頁 | 国交省<br>国道 17 号<br>六日町 BP | H26・<br>H29 | 集落跡                           | 中世                        | 掘立柱建物 33・土坑 37・小穴 1395・溝、流路 33・性格不明遺構 4                                        | 陶磁器・金属製品（鍛冶関連含む）・石製品・木製品                                                  | 小野本敦           |
|                     |                              |               |                          |             | 生産遺跡                          | 古代                        | 水田 1 層・井戸 1・小穴 6・溝、流路 1                                                        | 土師器・須恵器・石製品・木製品                                                           |                |
|                     |                              |               |                          |             | 集落跡・<br>生産遺跡                  | 古墳                        | 水田 1 層・土器集積遺構 23・焼土範囲 1 小穴 6・溝、流路 2                                            | 土師器・須恵器・石製品（砥石、玉類、石製模造品）・木製品（板状柱、農耕土木具など）                                 |                |
| 第 288 集<br>R2.03.31 | 丘江遺跡Ⅴ<br>第 7 次調査<br>柏崎市      | A4 版<br>328 頁 | 国交省<br>国道 8 号<br>柏崎 BP   | H30         | 集落跡                           | 鎌倉～<br>室町                 | 掘立柱建物 24 棟・櫓 2・井戸 81・土坑 21・溝 17・性格不明遺構 7・ビット                                   | 土器・陶磁器類（土師質土器、珠洲焼、瀬戸美濃焼、瓦器、青磁、白磁）、石製品（茶臼、石臼、砥石、硯、碁石）、木製品（櫛、下駄、漆器、曲物、箸）、銭貨 | 南波 守<br>（㈱大石組） |
|                     | 集落跡・<br>生産遺跡                 |               | 近世～<br>近代                |             | 井戸 4・溝 1・性格不明遺構 2・土壘 1・杭列・ビット | 陶磁器（肥前系）、木製品（漆器、棒状木製品）、銭貨 |                                                                                |                                                                           |                |
|                     | 工田遺跡<br>魚沼市                  |               | 国交省<br>国道 17 号<br>浦佐 BP  | H30         | 生産遺跡                          | 中世～<br>近世                 | 水田 5（畦畔 17）・溝 5・性格不明遺構 2・杭列 3                                                  | 土師器、須恵器、土師質土器、珠洲焼、陶磁器、木製品、杭                                               |                |

## 6 保 存 処 理

平成 31 年・令和元年度は、担当職員 1 名と嘱託員 5 名で木製品・金属製品の保存処理を行った。木製品保管棟のコンクリート水槽（平成 11 年建設）内部の塗装が劣化し剥落や塗面に膨れが生じたため、水槽の塗替え工事を 7 月から 8 月に実施した。水槽は大小 15 槽あり、今年度はそのうち小型水槽（内寸 185cm × 230cm × 深さ 130cm）10 か所の防水塗装を行った。水槽塗り替え工事に伴い、水漬け保管していた遺物の工事前後の移動にかなりの労力を要したが、9 月から塗り替えの終了した水槽に遺物を移動した。

### ■ 木製品の洗浄・台帳作成・写真撮影

木製品は、保存処理を開始するまで木製品保管棟の水槽で水漬け保管している。木製品の保存処理は報告書掲載遺物を優先して刊行順に行っている。その手順は遺物表面の泥汚れを水洗いし、長い間地中に埋もれ木製品に染み込んだ鉄分などの汚れを落とすために薬液に漬けて脱鉄処理を行う。その後、「保存処理台帳」に登録し（第 1 表）、処理前の状態を写真に記録してから、トレハロース含浸処理を始める。

### ■ 木製品の保存処理

木製品の保存処理では、乾燥による木材の収縮・変形を防止し、木材の強化を図るため、木材中の水分を空気中でも安定な糖アルコール（トレハロース）に置換し、結晶化させる「トレハロース含浸法」を採用している。平成 31 年度は大型品を中心にトレハロース含浸を実施した。これまで長さ約 50cm、厚さ 5cm 以上の木製品を大型に分類している。大型木製品の含浸期間は概ね 8 か月を目途としている。大型含浸槽（槽内長さ 3.0m）2 台と小型含浸槽（槽内長さ 1.7m）1 台を稼働した。

**大型木製品** 平成 30 年度から大型含浸槽 3 台を各年 1 サイクル稼働した。平成 31 年・令和元年度は 16 遺跡、212 点について、トレハロース含浸から結晶化（取出し乾燥）までの作業を実施した（第 2 表）。前年の平成 30 年度に保存処理を実施した大型木製品 8 遺跡、243 点について、スチームクリーナーで木製品の表面に飴状に付いたトレハロースを溶かして拭い、しばらく乾燥させ保存処理を完了した（第 5 表）。このあと遺物ラベルと保存処理台帳を確認して収蔵庫に収納する。

**小型木製品** 2 遺跡 10 点を大型木製品と一緒に期間に保存処理した（第 3 表）。漆製品 4 点の表面処理も行った（第 4 表）。保管用に収納・整理し保存処理を終了した。

### ■ 金属製品の洗浄・台帳作成（第 6 表）

金属製品は、報告書刊行順に遺物表面の泥汚れをエタノールで洗浄し、「保存処理台帳」に 5 遺跡の 3,236 点を登録した。その後、保存処理まで RP システム（脱酸素剤「RP 剤」と酸素や水を通さないハイバリアフィルム「エスカル」を用いた保管方法）により保管した。フィルムパックは 4 遺跡、238 点について実施した。

### ■ 金属製品の保存処理（第 7 表）

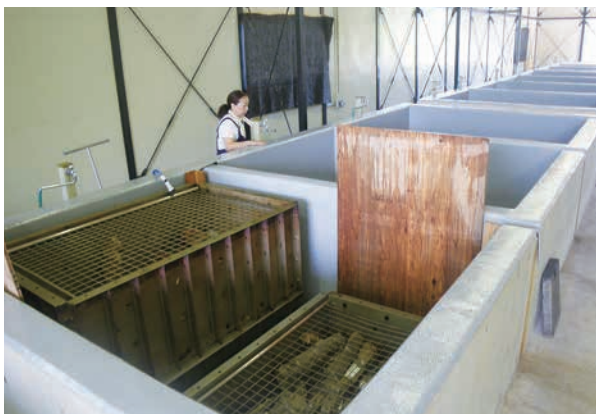
金属製品は、先ず X 線透過撮影により遺物の構造や劣化状態を確認した後、遺物表面を覆っている錆をグラインダーやメスなどで除去する。その後、腐食を促進する塩化物・硫酸を脱塩処理により取り除き、遺物の強化と腐食促進因子による再汚染防止を目的としたアクリル樹脂の含浸を行った。

平成 31 年・R1 度は 11 遺跡の鉄製品 86 点について、青銅製品は 17 遺跡 219 点の保存処理が終了した。





● 木製品保管水槽の塗替え工事



● 塗替え後の水槽に遺物収納カゴを移動



● 樹脂含浸処理のあとと接合復元作業



● 保存処理後の現状写真撮影

第1表 木製品保存処理台帳の作成

| 報告書 No. | 遺跡名          | 登録点数 |
|---------|--------------|------|
| 277     | 蕪木           | 9    |
| 283     | 丘江Ⅳ (5次)     | 7    |
| 286     | 山口Ⅱ (2・3次)   | 45   |
| 287     | 余川中道Ⅲ (4・5次) | 58   |
| 合 計     |              | 119  |

第2表 大型木製品の保存処理

| 報告書 No. | 遺跡名          | 処理点数 |
|---------|--------------|------|
| 60      | 一之口 (東地区)    | 1    |
| 138     | 五反田          | 2    |
| 157     | 住吉           | 6    |
| 181     | 田屋道Ⅰ         | 13   |
| 193     | 田屋道Ⅱ         | 8    |
| 193     | 八太郎          | 28   |
| 193     | 宮の越Ⅱ         | 2    |
| 194     | 西部Ⅳ          | 8    |
| 196     | 野地           | 23   |
| 201     | 延命寺          | 34   |
| 202     | 六反田南         | 4    |
| 202     | 前波南          | 24   |
| 203     | 狐塚           | 4    |
| 232     | 境塚           | 1    |
| 283     | 丘江Ⅳ (5次)     | 1    |
| 287     | 余川中道Ⅲ (4・5次) | 53   |
| 合 計     |              | 212  |

第3表 小型木製品の保存処理

| 報告書 No. | 遺跡名 | 処理点数 |
|---------|-----|------|
| 277     | 蕪木  | 6    |
| 286     | 山口Ⅱ | 4    |
| 合 計     |     | 10   |

第4表 漆製品の表面処理

| 報告書 No. | 遺跡名 | 処理点数 |
|---------|-----|------|
| 未定      | 丘江Ⅶ | 4    |
| 合 計     |     | 4    |

第5表 大型木製品の表面処理

| 報告書 No. | 遺跡名       | 処理点数 |
|---------|-----------|------|
| 154     | 三角田       | 19   |
| 156     | 北沖東       | 33   |
| 157     | 住吉        | 127  |
| 232     | 境塚        | 10   |
| 265     | 山崎Ⅱ       | 34   |
| 275     | 丘江Ⅰ       | 11   |
| 276     | 丘江Ⅱ       | 8    |
| 133     | 青田 (木柱試料) | 1    |
| 合 計     |           | 243  |

第6表 金属製品保存処理台帳の作成

| 報告書 No. | 遺跡名  | 登録点数  |
|---------|------|-------|
| 278     | 境塚Ⅲ  | 2,998 |
| 279     | 石船戸東 | 214   |
| 281     | 上野Ⅰ  | 7     |
| 282     | 土橋北  | 7     |
| 283     | 丘江Ⅳ  | 10    |
| 合 計     |      | 3,236 |

第7表 金属製品の保存処理

| 【鉄製品】   |      |      |
|---------|------|------|
| 報告書 No. | 遺跡名  | 処理点数 |
| 169     | 坂井   | 4    |
| 172     | 鴨深甲  | 1    |
| 176     | 窪田Ⅰ  | 24   |
| 179     | 桜林Ⅱ  | 2    |
| 182     | 岩ノ原  | 5    |
| 184     | 姫御前Ⅰ | 3    |
| 189     | 寺前   | 41   |
| 192     | 大館跡Ⅱ | 2    |
| 193     | 谷地   | 2    |
| 194     | 西部Ⅳ  | 1    |
| 194     | 桜林Ⅲ  | 1    |
| 合 計     |      | 86   |

| 【青銅製品】  |      |      |
|---------|------|------|
| 報告書 No. | 遺跡名  | 処理点数 |
| 140     | 東原町  | 40   |
| 168     | 中曽根  | 35   |
| 169     | 坂井   | 16   |
| 171     | 狐宮   | 6    |
| 173     | 大角地  | 2    |
| 176     | 窪田Ⅰ  | 62   |
| 179     | 桜林Ⅱ  | 6    |
| 180     | 松蔭東  | 4    |
| 180     | 大館跡Ⅰ | 1    |
| 181     | 田屋道Ⅰ | 3    |
| 182     | 岩ノ原  | 1    |
| 184     | 姫御前Ⅰ | 14   |
| 188     | 横マクリ | 1    |
| 189     | 寺前   | 19   |
| 192     | 大館跡Ⅱ | 5    |
| 193     | 谷地   | 1    |
| 193     | 八太郎  | 3    |
| 合 計     |      | 219  |

### Ⅲ 普及啓発事業

#### 1 現地説明会

令和元年度は、古屋敷割遺跡・弥五郎遺跡・館遺跡合同、上野遺跡で現地説明会を開催し、六日町藤塚遺跡で出土品・パネル展示をおこなった。参加者は合計で365名であった。

令和元年度出土品等展示会・現地説明会一覧

| 開催日            | 遺跡名                    | 事業名              | 所在地  | 主な時代           | 参加人数 |
|----------------|------------------------|------------------|------|----------------|------|
| 7/29(月)～8/4(日) | 六日町藤塚遺跡<br>坂之上遺跡       | 国道17号<br>六日町BP   | 南魚沼市 | 古墳             | 187名 |
| 10/19(土)       | 古屋敷割遺跡<br>弥五郎遺跡<br>館遺跡 | 国道253号<br>上越三和道路 | 上越市  | 古墳<br>古代<br>中世 | 90名  |
| 11/2(土)        | 上野遺跡Ⅲ                  | 国道7号<br>朝日温海道路   | 村上市  | 縄文             | 88名  |
| 合 計            |                        |                  |      |                | 365名 |



● 現地説明会（弥五郎遺跡）の様子

#### 2 企画展・常設展

##### ■ 春季企画展「佐渡の王ー蔵王遺跡ー」

本展では、新潟県指定文化財である佐渡市蔵王遺跡の弥生～古墳時代の出土品を展示した。蔵王遺跡では権威を誇示する内行花文鏡や珠文鏡があり、銅鏃やガラス製小玉も当時の貴重品である。また、威儀具の鬚形木製品や祭祀具の舟形や剣形、新潟県内では珍しい鶏形土製品があり、さまざまな祭祀が行われていたことを示している。このほか、良質のスギ材を使った槽や、桶・曲物などの精巧な作りからは、木工技術の高さとそれを利用した人々の権威を窺い知ることができる。さらに、平鍬や竪杵といった稲作に関するもの、横槌などの工具、編台や糸巻具などの編み具など、さまざまな木製の生活用具が見つかっている。掘立柱建物の柱は丸太材のほか、大木から丸く削り出した手の込んだものがあり、礎板には大型の桶を割って再利用したものもある。布掘り建物の柱は直径80cm以上の丸太材から削り出したものである。これらは格の高い建物があったことを物語っている。部材には屋根材や垂木、母屋材、破風板など、当時の建物の構造を示すものが見つかっている。これらの展示品87点から、王の存在を裏付ける可能性があることを提示した。観覧者数は8,315人である。



● 「佐渡の王ー蔵王遺跡ー」  
展示の様子



## ■ 秋季企画展「海をわたったヒスイ」

糸魚川市の世界ユネスコジオパークには、小滝川流域と青海川流域の2か所のヒスイ産地があり、いずれも天然記念物に指定されている。糸魚川市大角地遺跡で見つかった約6,500年前の敲石は、世界最古のヒスイ製石器である。柏崎市大宮遺跡では約6,000年前の国内最古のヒスイ製加工品が、上越市和泉A遺跡では約5,500年前の県内最古のヒスイ製大珠が出土している。約5,000年前になると、糸魚川市長ヶ原遺跡で鯉節の形に似たヒスイ製大珠が盛んに作られ、東日本一帯に流通した。見附市耳取遺跡の鯉節形大珠は、ヒスイ製のものとしては県内最大である。長岡市岩野原遺跡では貴重なヒスイ製大珠が墓から見つかっており、大珠はムラを代表するような人物の立場などを誇示するステータスシンボルであったと考えられている。約3,500年前になると、ヒスイ製勾玉などの小型品が流行する。胎内市野地遺跡の墓では人の頭付近からヒスイ製丸玉が出土した。



● 「海をわたったヒスイ」展示の様子

糸魚川地域のヒスイは青森県と北海道に大量に運ばれ、奥尻島でも見つかっている。大珠は丸い根付形が好まれたが、どこで作られたか分かっていない。約3,000年前の青森県六ヶ所村上尾駁(1)遺跡では、墓に副葬された首飾りや勾玉が多数見つかっている。一方、鹿児島県にも糸魚川地域のヒスイが運ばれた。鉄砲伝来で有名な種子島の現和楽遺跡で見つかった大珠は孔のあけ方や形が独特のものである。南さつま市上加世田遺跡の獣形勾玉や管玉は地元産の石を使った九州ブランドの玉で、いまのところ最北の資料は新潟県新発田市青田遺跡の平玉である。

糸魚川地域の玉作りは弥生時代前期の大塚遺跡でいったん途絶える。県内では弥生時代中期後半に長岡市大武遺跡などでヒスイ製勾玉が再び作られ始め、その多くは信州や東北地方との交易品として利用された。古墳時代にヒスイ製勾玉は権威を示す役割を果たし、胎内市城の山古墳の舟形木棺には質の高いヒスイ製勾玉が副葬された。ヒスイ製勾玉作りは古墳時代後期に終焉を迎えるが、滑石製の鏡・剣・勾玉などを模した石製模造品が作られ、祭祀に使われた。やがてヒスイそのものが忘れ去られ、糸魚川市小滝川で再発見されたのは昭和13年のことである。以上の展示品から、世界最古のヒスイ文化について理解を深めていただいた。観覧者数は6,421人である。

## ■ 常 設 展

速報展示コーナーにおいて、南魚沼市六日町藤塚遺跡(古墳時代中期～後期)、阿賀野市大坪遺跡・境塚遺跡(鎌倉～室町時代)、柏崎市丘江遺跡(弥生～江戸時代)の展示替えを行った。また、新たに火焰型土器展示コーナーを設け、十日町市博物館所蔵の野首遺跡、森上遺跡、カウカ平A遺跡、笹山遺跡の火焰型土器を4か月単位で借用し、展示した。新潟市内で完形の火焰型土器を見学できる施設は少なく、来館者から好評を得た。



● 速報展示コーナー



### 3 発掘！新潟の遺跡 2019 展・遺跡発掘調査報告会・講演会

#### ■ 発掘！新潟の遺跡 2019 展

新潟県教育委員会が平成 31・令和元年度に発掘調査・整理作業を行った村上市上野遺跡、阿賀野市山口遺跡、南魚沼市坂之上遺跡・六日町藤塚遺跡・余川中道遺跡、柏崎市丘江遺跡、上越市古屋敷割遺跡の 7 遺跡の出土品・写真パネルなどの展示を行った。速報性が高い内容で、多くの展示品が初公開となった。期間は 1 月 10 日（金）から 3 月 22 日（日）の予定であったが、新型コロナウイルス拡散防止のため新潟県埋蔵文化財センターが 3 月 2 日（月）～ 3 月 31 日（火）まで休館となったため、3 月 1 日（日）までの開催となった。期間中の入館者は 1,472 人である。

#### ■ 第 24 回遺跡発掘調査報告会

3 月 8 日（日）に埋蔵文化財センター研修室で実施予定であったが、3 月 2 日（月）からの閉館に伴い中止した。

#### ■ 新潟県埋蔵文化財センター講演会

企画展の 3 つのテーマに合わせ 4 月から 2020 年 2 月まで 11 回の講演会を開催した。聴衆は合わせて 910 名であった。新潟市をはじめ県内の受講者に加え、県外から複数回参加の受講者もあった。

講演会の内容は、前半は春季企画展「佐渡の王－蔵王遺跡－」に関連した 5 回の講演、9 月から秋季企画展「海をわたったヒスイ」関係の 5 回の講演を実施した。冬季企画展「発掘！新潟の遺跡 2019」に関して 2 回を開催した。2 月 23 日の講演会では、コロナウイルス感染症対策のため参加者には受付前に手指のアルコール消毒を依頼した。途中の休憩時間には窓を開けて喚起を行い、講師はマスクをつけて講演するなど感染防止に努めた。

### 4 校外学習・体験イベント

#### ■ 校外学習・出前授業・職場体験・団体見学

平成 31・令和元年度に校外学習で来館した学校等は 36 校 2,455 人、出前授業は 12 校 522 人、職場体験は 8 校 48 人（複数日来館含む）、合計 56 校 3,025 人であった。校外学習は平成 30 年度に比べ 8 校 151 人減少した。この要因はゴールデンウィークが 10 連休になったのに伴い、授業日数が減少したことによる影響が大きいと考えられる。校外学習の内容は、本物の土器や石器を用いた歴史学習、火起こしなどの体験学習、埋文センターのバックヤードを見学する仕事見学、土器接合を行う仕事体験である。

ほとんどの学校が仕事見学を行い、キャリア教育への関心の高まりが認められる。出前授業は 2 校 193 人の増加となった。遠方の十日町市や長岡市、新発田市から依頼があったことが特徴である。本物の縄文土器を触ることや体験学習の要望が高く、歴史への興味を抱き、知識の定着を図りたいとのねらいがうかがえる。職場体験は平成 30 年度に比べ 2 校増加した。土器の接合や拓本、金属製品の洗浄、展示作業など埋文センターならではの仕事を組み入れた。団体見学は 17 団体 338 人であり、平成 30 年度より 4 団体増加した。



● 職場体験での縄文土器の拓本実習

平成 31・令和元年度 体験学習等参加校一覧  
校 外 学 習

| No. | 月  | 日  | 曜日 | 学 校 名            | 学習の内容 |      |      |      |      |      |      | 人数<br>引率者含む |
|-----|----|----|----|------------------|-------|------|------|------|------|------|------|-------------|
|     |    |    |    |                  | 展示見学  | 実物学習 | 火起こし | 勾玉作り | 石器体験 | 仕事見学 | 仕事体験 |             |
| 1   | 4  | 16 | 火  | 新潟市立本戸小学校        | ○     | ○    | ○    | ○    |      | ○    |      | 70          |
| 2   | 4  | 16 | 火  | 新潟市立桜が丘小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 87          |
| 3   | 4  | 17 | 水  | 新潟市立亀田西小学校       | ○     | ○    | ○    | ○    |      |      |      | 99          |
| 4   | 4  | 22 | 月  | 新潟市立結小学校         | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      | 127         |
| 5   | 4  | 23 | 火  | 新潟市立矢代田小学校       | ○     | ○    | ○    | ○    |      | ○    |      | 42          |
| 6   | 4  | 24 | 水  | 新潟市立荻川小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 101         |
| 7   | 4  | 24 | 水  | 新潟市立新津第一小学校      | ○     | ○    |      | ○    |      | ○    |      | 79          |
| 8   | 4  | 25 | 木  | 新潟市立小林小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    |      |      | 29          |
| 9   | 4  | 26 | 金  | 新潟市立早通南小学校       | ○     | ○    |      |      | ○    | ○    |      | 123         |
| 10  | 5  | 9  | 木  | 新潟市立巻北小学校        | ○     | ○    | ○    |      |      | ○    |      | 97          |
| 11  | 5  | 10 | 金  | 新潟市立葛塚小学校        | ○     | ○    |      | ○    | ○    | ○    |      | 131         |
| 12  | 5  | 14 | 火  | 五泉市立川東小学校        | ○     | ○    |      |      |      | ○    | ○    | 35          |
| 13  | 5  | 15 | 水  | 新潟市立曾野木小学校       | ○     | ○    |      | ○    |      | ○    |      | 57          |
| 14  | 5  | 15 | 水  | 新潟市立金津中学校        | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 17          |
| 15  | 5  | 16 | 木  | 新潟市立上山中学校        | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 4           |
| 16  | 5  | 17 | 金  | 阿賀野市立神山小学校       | ○     | ○    |      |      | ○    | ○    |      | 13          |
| 17  | 5  | 23 | 木  | 新潟市立万代長嶺小学校      | ○     | ○    | ○    | ○    |      | ○    |      | 53          |
| 18  | 5  | 24 | 金  | 新潟市立江南小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    |      |      | 58          |
| 19  | 6  | 7  | 金  | 新潟市立日和山小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 53          |
| 20  | 6  | 26 | 水  | 新潟市立阿賀小学校        | ○     | ○    |      |      | ○    | ○    |      | 61          |
| 21  | 6  | 27 | 木  | 新潟市立坂井輪小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 125         |
| 22  | 7  | 1  | 月  | 新潟市立小合小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    |      |      | 19          |
| 23  | 7  | 2  | 火  | 新潟市立小合東小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    | ○    | 14          |
| 24  | 7  | 11 | 木  | 新潟市立新潟小学校        | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    |      | 108         |
| 25  | 7  | 23 | 火  | 新潟市立上所小学校        | ○     | ○    |      | ○    | ○    | ○    |      | 121         |
| 26  | 8  | 20 | 火  | 新潟市青山 3 区自治会子ども会 | ○     | ○    | ○    | ○    |      | ○    |      | 56          |
| 27  | 9  | 13 | 金  | 新潟市立桃山小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 113         |
| 28  | 9  | 17 | 火  | 新潟市立牡丹山小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 123         |
| 29  | 9  | 19 | 木  | 新潟市立小須戸小学校       | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 41          |
| 30  | 9  | 25 | 水  | 新潟市立立仏小学校        | ○     | ○    |      |      | ○    | ○    | ○    | 59          |
| 31  | 10 | 1  | 火  | 新潟市立東中野山小学校      | ○     | ○    |      |      | ○    | ○    |      | 96          |
| 32  | 10 | 18 | 金  | 新潟市立和納小学校        | ○     | ○    |      | ○    | ○    | ○    |      | 34          |
| 33  | 10 | 24 | 木  | 燕市立大関小学校         | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 24          |
| 34  | 10 | 25 | 水  | 新潟市立新津第三小学校      | ○     | ○    |      | ○    | ○    | ○    |      | 140         |
| 35  | 11 | 5  | 火  | 新潟市立升潟小学校        | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 18          |
| 36  | 11 | 12 | 火  | 新潟市立東曾野木小学校      | ○     | ○    | ○    |      | ○    | ○    |      | 28          |
| 合 計 |    |    |    |                  | 36    | 34   | 23   | 13   | 25   | 32   | 3    | 2,455       |

出 前 授 業

|     |   |    |   |             |   |    |   |   |   |   |   |     |
|-----|---|----|---|-------------|---|----|---|---|---|---|---|-----|
| 1   | 4 | 15 | 月 | 新潟市立豊栄南小学校  |   | ○  | ○ |   |   |   |   | 13  |
| 2   | 4 | 15 | 月 | 新潟市立新関小学校   |   | ○  | ○ |   |   |   |   | 14  |
| 3   | 4 | 18 | 木 | 新潟市立大淵小学校   |   | ○  |   | ○ | ○ |   |   | 23  |
| 4   | 4 | 19 | 金 | 新潟市立関屋小学校   |   | ○  |   |   | ○ |   |   | 25  |
| 5   | 4 | 22 | 月 | 新潟市立沼垂小学校   |   | ○  |   |   | ○ |   |   | 63  |
| 6   | 4 | 23 | 火 | 新潟市立山潟小学校   |   | ○  |   |   | ○ |   |   | 66  |
| 7   | 4 | 25 | 木 | 十日町市立西小学校   |   | ○  | ○ |   | ○ |   |   | 47  |
| 8   | 4 | 26 | 金 | 長岡市立寺泊小学校   |   | ○  |   |   | ○ |   |   | 41  |
| 9   | 5 | 7  | 火 | 新潟市立白根小学校   |   | ○  |   |   |   |   |   | 86  |
| 10  | 5 | 7  | 火 | 新発田市立佐々木小学校 |   | ○  | ○ |   | ○ |   |   | 22  |
| 11  | 5 | 9  | 木 | 新潟市立岡方第一小学校 |   | ○  | ○ |   |   |   |   | 14  |
| 12  | 6 | 20 | 木 | 三条市立三条第二中学校 |   | ○  |   |   | ○ |   |   | 108 |
| 合 計 |   |    |   |             | 0 | 12 | 5 | 1 | 8 | 0 | 0 | 522 |

職場体験

| No. | 月  | 日  | 曜日 | 学 校 名       | 体験の内容 |    |    |    |      |      |      | 人数<br>引率者含む |
|-----|----|----|----|-------------|-------|----|----|----|------|------|------|-------------|
|     |    |    |    |             | 館内見学  | 註記 | 接合 | 拓本 | 保存処理 | 展示作業 | 体験準備 |             |
| 1   | 5  | 13 | 月  | 新潟市立新津第一中学校 | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 10          |
| 2   | 5  | 14 | 火  | 新潟市立新津第一中学校 | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 10          |
| 3   | 7  | 4  | 木  | 新潟市立金津中学校   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    |      | 2           |
| 4   | 7  | 5  | 金  | 新潟市立金津中学校   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    |      | 2           |
| 5   | 7  | 23 | 火  | 新潟市立小合中学校   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 4           |
| 6   | 7  | 24 | 水  | 新潟市立小合中学校   | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 4           |
| 7   | 11 | 6  | 水  | 新潟市立新津第二中学校 | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 8           |
| 8   | 11 | 7  | 木  | 新潟市立新津第二中学校 | ○     | ○  | ○  | ○  | ○    | ○    | ○    | 8           |
| 合 計 |    |    |    |             | 8     | 8  | 8  | 8  | 8    | 8    | 6    | 48          |

団体・その他（職員が解説等をした団体）

| No. | 月  | 日  | 曜日 | 団 体 名            | 見学の内容 |      |      |      |      |      |      | 人数<br>引率者含む |
|-----|----|----|----|------------------|-------|------|------|------|------|------|------|-------------|
|     |    |    |    |                  | 展示見学  | 実物学習 | 火起こし | 勾玉作り | 石器体験 | 仕事見学 | 仕事体験 |             |
| 1   | 4  | 25 | 木  | 寺尾中央公園自治会        | ○     |      |      |      |      |      |      | 40          |
| 2   | 5  | 7  | 火  | 新潟文化財鑑賞会         | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 21          |
| 3   | 5  | 13 | 月  | 法政大学考古学研究室       | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 15          |
| 4   | 6  | 19 | 水  | 林退会新潟県協議会        | ○     |      |      |      |      |      |      | 24          |
| 5   | 9  | 12 | 木  | 新潟大学人文学部         | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 16          |
| 6   | 9  | 13 | 金  | 明治大学             | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 21          |
| 7   | 9  | 19 | 木  | 地底の森ミュージアムボランティア | ○     |      |      |      |      |      |      | 26          |
| 8   | 9  | 25 | 水  | めぶき会             | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 17          |
| 9   | 10 | 3  | 木  | いつもの会            | ○     |      |      |      |      | ○    |      | 6           |
| 10  | 10 | 16 | 水  | 糸魚川市教育委員会        | ○     |      |      |      |      |      |      | 15          |
| 11  | 10 | 17 | 木  | 大人塾              | ○     |      |      |      |      |      |      | 17          |
| 12  | 10 | 21 | 木  | 新潟市立新関小学校 PTA    | ○     |      |      | ○    |      |      |      | 2           |
| 13  | 10 | 23 | 水  | 豊浦地区公民館          | ○     |      |      |      |      |      |      | 20          |
| 14  | 11 | 5  | 火  | 北谷内地区自治会         | ○     |      |      |      |      |      |      | 30          |
| 15  | 11 | 8  | 金  | 埋蔵文化財対策五県協議会     | ○     |      |      |      |      |      |      | 8           |
| 16  | 11 | 10 | 日  | 三条市日本遺産めぐり       | ○     |      |      |      |      |      |      | 16          |
| 17  | 11 | 11 | 月  | 魚沼市文化協会          | ○     |      |      |      |      |      |      | 44          |
| 合 計 |    |    |    |                  | 17    | 0    | 0    | 1    | 0    | 6    | 0    | 338         |

### ■ 少年少女考古学教室・親子考古学教室

少年少女考古学教室（全4回）は、学年や地域が違いう仲間たちと交流しながら、土器や石器などの遺物に触れ、様々な体験活動をととして古代の人々の知恵や生活を学ぶことを目的とする。「縄文土器の観察と土器作り体験」、「竪穴住居の観察とクルミ割り体験」、「石斧体験と勾玉作り」、「古銭の拓本取りと編み物作り体験」を行った。遺跡や歴史に興味がある小学4年生～中学3年生が参加し、参加者数は延べ51人、全回参加者は5人であった。親子考古学教室では縄文土器の観察や土器作りなどの体験を行い、19組40人が参加した。



● 少年少女考古学教室でのクルミ採取

### ■ 花と遺跡のふるさとフェスタ・まいぶん祭り

「花と遺跡のふるさと公園」内で実施する「花と遺跡のふるさとフェスタ」（6/2）は、新潟市秋葉区産業振興課・新潟市新津美術館・新潟市弥生の丘展示館・新潟県立植物園・新津フラワーランドとの協働で実施した。クルミを石で割る体験やクイズでガチャなどを行い、参加者は888人であった。まいぶん祭り（10/6）も同様に協働で実施し、土器でクリを煮る体験や勾玉作りなどを行った。参加者は607人であった。両イベントとも参加人数は過去最高を記録した。



● 花と遺跡のふるさとフェスタ クルミ割り体験

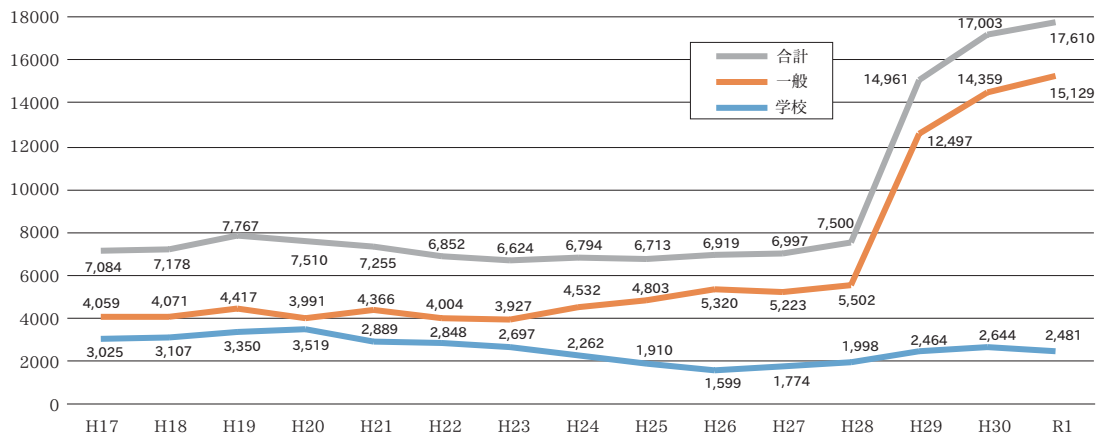
## 5 入館者数

埋文センターは平成8年10月1日に開館以来、平成31・令和元年度末で23年6か月が経過した。埋文センターの常設展示室では、県民に新潟県の歴史に親しんでいただけるように通史と縄文時代の暮らしに主眼を置いた展示を行っている。エントランスの展示スペースは企画展示スペースとして活用している。年末年始の6日間を除き連日開館し、見学できるようになっている。埋文センターの所在する新潟市の「花と遺跡のふるさと公園」には、新潟県立植物園・新潟市新津美術館・新潟市弥生の丘展示館・史跡古津八幡山遺跡、民営の新津フラワーランド（花木鉢等販売）などがあり、年間30万人以上が訪れている。しかし、埋文センターが一番奥まった場所に位置しているため、存在に気付く人は少ない。そこで、正面玄関前に「開館中」などの幟旗を設置して、遠目からでも埋文センターの存在が分かるように工夫している。

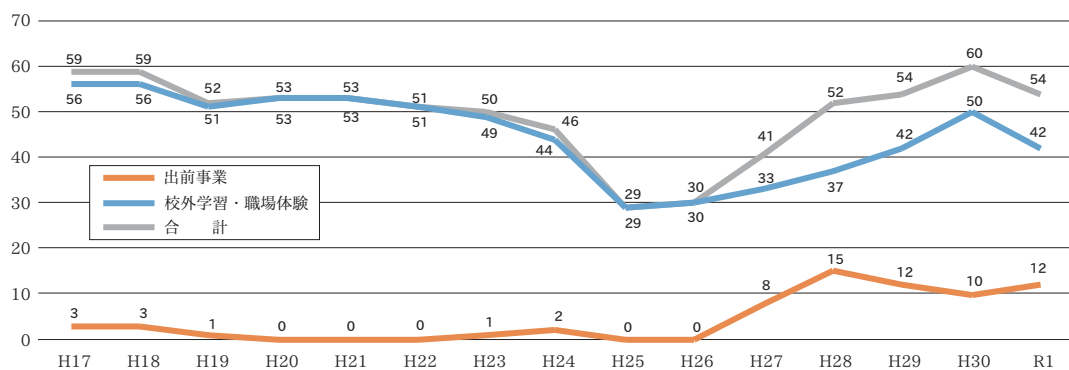
平成29年度に埋文センター年間催し物計画のパンフレットを作成し、配布するなど広報に努めた結果、開館後初の1万人の大会に乗った後も、着実に入館者は増加している。平成31年・令和元年度は、魅力的な企画展と関連講演会の実施に努めた。この結果、新型コロナウイルス拡散防止のため令和2年3月2日から3月31日まで休館したにも係わらず、昨年度を約600名上回る入館者となった。校外学習・職場体験での利用は前年度より8校減少し、出前授業は2校増加した。



## ■ 入館者の推移



## ■ 体験学習等参加校の推移



# 6 広 報

## ■ 年 報

1年間の事業概要の総括したもので、9月30日に平成30年度版（A4版32頁）を刊行した。平成29年度から、印刷物は30部のみとし配布を取り止め、当事業団のホームページで公表した。

## ■ 埋文にいがた

発掘調査速報やイベント情報を中心とする広報紙で、6月・9月・12月・3月に発行した。印刷部数は2,200部である。

## ■ ホームページ・メールマガジン・Facebook・Twitter

ホームページは事業団の組織・業務の公開のほか、埋文センターで開催される企画展・講演会・体験イベントなどの開催案内、各発掘調査現場での現地説明会の案内、刊行図書等の情報を掲載した。4月から2020年3月までのアクセス数は22,732件であった。メールマガジン・Facebook・Twitterは講演会や体験イベント等の情報を随時配信した。メールマガジンは登録数32件、フォロワー数はFacebook475件、Twitter610件である。

## ■ 年間パンフレット・花と遺跡のふるさと公園パンフレット

埋文センターが行う普及事業を紹介する2019年度年間パンフレットを作成し、来館者や県内外の博物館等の施設に配付した。また、埋文センターと新潟県立植物園・新潟市文化財センター・新潟市新津美術館・新津フラワーランドが「花と遺跡のふるさと公園」魅力アップ連携協議会を組織して作成した公園の魅力と施設を紹介するパンフレットも配布した。

平成 31・令和元年度発行「埋文にいがた」内容一覧

| 号   | 発行年月日          | 調査・整理遺跡の紹介                 | その他                                                                      | 県内の遺跡・遺物            |
|-----|----------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 107 | 令和元年<br>6月28日  | 平成31（令和元）年度本発掘調査遺跡・整理遺跡の紹介 | 埋文コラム「縄文の土偶」<br>2019年度春季企画展「佐渡の王ー蔵王遺跡」を開催中<br>開催ご案内 親子考古学教室・少年少女考古学教室    | 蔵王遺跡（佐渡市）<br>出土品    |
| 108 | 令和元年<br>9月28日  | 坂之上遺跡<br>峠を越えた赤い土器         | 2019年度整理作業から「峠を越えた「赤い土器」」<br>2019年度秋季企画展「海をわたったヒスイ」<br>埋文コラム「石鏃について」     | 新津油田金津鉾場跡<br>（新潟市）  |
| 109 | 令和元年<br>12月26日 | 弥五郎遺跡<br>丘江遺跡              | 埋文コラム「石井荘と墨書土器」<br>「発掘！新潟の遺跡 2019 展、第 24 回遺跡発掘報告会を開催します」                 | 六反田南遺跡<br>（糸魚川市）出土品 |
| 110 | 令和2年<br>3月26日  | 上野遺跡<br>古屋敷割遺跡             | 埋文コラム「肥前陶磁」<br>令和2年度春季企画展「縄文の巨木柱とマツリー糸魚川市 寺地遺跡ー」<br>少年少女考古学教室（全4回）で発掘体験！ | 今井城跡（津南町）           |

## 7 図 書

主な業務は、新刊図書の受け入れ、図書資料の収集・保存・整理・閲覧などである。当事業団のホームページの「資料室（図書室）情報」に平成30年度新規収蔵受付図書一覧と県内市町村別発掘調査報告書等目録（令和元年度9月30日現在）を掲載した。蔵書管理ではバーコード利用への対応を引き続き進めている。

（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団資料室 蔵書・利用統計

### 蔵 書 統 計

| 年 度         | H21年度  | H22年度  | H23年度  | H24年度  | H25年度  | H26年度  | H27年度  | H28年度  | H29年度  | H30年度  | R 元年度  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 新 刊 受 入 冊 数 | 3,512  | 3,171  | 2,702  | 2,674  | 2,360  | 2,450  | 2,450  | 2,320  | 2,361  | 2,250  | 2,220  |
| 累 積 冊 数     | 57,280 | 60,451 | 63,153 | 65,827 | 68,187 | 70,637 | 73,087 | 75,407 | 77,768 | 80,018 | 82,238 |

### 外部利用者数

|                 | H21年度 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R 元年度 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 市町村教委埋蔵文化財担当者   | 43    | 36    | 41    | 45    | 34    | 36    | 30    | 29    | 19    | 15    | 13    |
| 大学生・大学院生・大学関係者  | 45    | 31    | 56    | 24    | 23    | 6     | 13    | 10    | 17    | 8     | 10    |
| 小学生・中学生・高校生     | 0     | 0     | 21    | 2     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 3     |
| 教 員             | 3     | 3     | 1     | 4     | 1     | 1     | 1     | 0     | 1     | 0     | 2     |
| 埋 文 関 係 民 間 企 業 | 120   | 47    | 92    | 91    | 49    | 50    | 19    | 33    | 24    | 13    | 11    |
| その他埋蔵文化財関係者     | 15    | 26    | 46    | 51    | 71    | 24    | 30    | 21    | 32    | 49    | 21    |
| 一 般             | 12    | 13    | 9     | 16    | 19    | 25    | 25    | 18    | 6     | 16    | 19    |
| 合 計             | 238   | 156   | 266   | 233   | 197   | 142   | 118   | 111   | 99    | 101   | 79    |

### 外部利用者コピー機使用件数・枚数

|           | H21年度  | H22年度 | H23年度  | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R 元年度 |
|-----------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| コ ピ ー 件 数 | 165    | 102   | 168    | 143   | 107   | 90    | 53    | 67    | 49    | 38    | 43    |
| コ ピ ー 枚 数 | 16,820 | 6,553 | 14,558 | 7,841 | 7,473 | 4,606 | 1,858 | 3,002 | 2,177 | 2,369 | 2,210 |

## IV 研修・各種委員会

### 1 職員研修

#### 1) 調査課研修

埋蔵文化財専門職員としての資質・能力向上を目的に、文化庁・県教育委員会などが実施する各種研修会・講習会に参加した。

##### ① 文化庁 令和元年度第1回埋蔵文化財担当職員等講習会

(令和元年8月21～23日 北海道札幌市・江別市・恵庭市・千歳市): 参加者1名

講義1 「埋蔵文化財保護行政の現状と課題」

講義2 「埋蔵文化財保護の法と制度」

報告 「震災からの復興の取組」

シンポジウム「埋蔵文化財保護行政における保存と活用 XVII－埋蔵文化財の活用と地域研究(2)－」  
趣旨説明

基調報告1 「文化財の総合調査と地域研究－福岡県・九州歴史博物館の取組－」

基調報告2 「地域づくりにつながる文化財の調査研究1－山梨県甲州市の取組－」

基調報告3 「地域づくりにつながる文化財の調査研究2－北海道上ノ国町の取組－」

基調報告4 「地域づくりにつながる文化財の調査研究3－兵庫県淡路市の取組－」

現地見学 丘珠縄文遺跡、江別市郷土資料館、史跡江別古墳群、北海道埋蔵文化財センター

##### ② 県教委 市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修

研修① (令和元年11月22日 埋文センター): 参加者3名

講義1 「縄文土器の編年(中期を事例に)」

講義2 「縄文土器の編年(後・晩期を事例に)」

実習1 「縄文土器の変遷(中期)」

実習2 「縄文土器の変遷(後・晩期)」

研修② (令和元年12月13日 埋文センター): 参加者3名(内、講師1名)

講義1 「縄文土器の実測」

実習1 「縄文土器の実測」

講義2 「縄文土器の混和材」

実習2 「混和材の認定」

実習3 「実測図の講評」

実習4 「混和材の講評」

研修③ (令和元年2月14・15日 新潟県庁): 参加者12名

【2月14日】

#### (1) 文化行政課報告

文行報告① 新潟県における埋蔵文化財保護行政の現状と課題・新潟県文化財保存活用大綱

文行報告② 令和元年度諸問題検討委員会・令和2年度県活用事業



文行報告③ 補助金事務、届出・通知等

文行報告④ 国県指定文化財の取扱留意点等

(2) 令和元年度研修の主旨説明

(3) 研修テーマ 1：埋蔵文化財の保存・保管を考える

① 講演「文化財の把握と保管・管理・活用－川崎市の事例から－」

② 出土品の保存処理～保管 出土品保存処理の現状と課題

③ 洪水・津波災害の危険性について

出土品・記録類等の保管・管理の現状と課題

④ 討論－何を残し、どう保管・管理していくか－

【2月15日】

(4) 研修テーマ 2：埋蔵文化財の活用を考える

① 観光の立場から見た文化財

② 裾野を広げる活用－小学校出前授業－

③ 地域研究と活用

④ 講演「埋蔵文化財保護行政の現状と課題－求められる埋蔵文化財の活用－」

【文化庁 埋蔵文化財保護行政基礎講座】

① 法と制度

② 補助制度

③ 関東甲信越静地区埋蔵文化財担当職員共同研修協議会（11月14・15日茨城県水戸市）：1名参加

報告「地域で守る文化財の取り組みについて」

基調報告 1「地域で守る文化財の取組」

・泉坂下遺跡の発掘調査から現在まで

・常陸大宮市高部宿の今

基調報告 2「文化財集中曝涼での学生を活用した取組」

視 察 常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館、泉坂下遺跡

④ 全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会（令和元年12月12・13日京都府京都市）：参加者1名

基調講演「近現代考古学と京都について」

調査部会「名勝庭園の考古学的調査」

視 察 史跡御土居、方広寺跡（石塁、方広寺梵鐘、大仏殿公園、耳塚、京都国立博物館）

## 2 安全衛生委員会

### 1) 委 員 会

調査現場及び作業場の安全点検、労務災害・交通災害の予防や安全衛生教育の企画立案などをテーマに、委員7名で構成する委員会を年間9回開催した。

### 2) 研 修 ・ 講 習

① 救急法講習（令和元年11月1日午前）

全職員を対象に、救急法の講習を行った。

〔内 容〕 救急法「手当の基本」（急病人が出たときの手当等）

〔講 師〕 日本赤十字社新潟支部 指導員

② 消防訓練（令和元年 11 月 1 日午後）

内勤職員を対象に、火災時の行動、非常口・消火設備の配置と使用方法の確認について、消防用設備保守点検委託会社社員の指導を得て、講習・実習・実施訓練を行った。

- 〔内 容〕 1 通報訓練  
2 避難・誘導訓練  
3 非常持ち出し訓練  
4 消火器・消火栓使用訓練

〔講 師〕 新潟ニッタン（株） 社員

3) 巡 視 ・ 点 検

事務作業環境の安全・衛生管理を目的として、委員が発掘調査現場及び埋蔵文化財センター内を巡視・点検し、担当職員や委託業者に対して改善事項等の指示・指導を行った。

① 発掘調査現場（7 か所）

- 令和元年 7 月 16 日 弥五郎遺跡、古屋敷割遺跡  
7 月 17 日 六日町藤塚遺跡Ⅲ、坂之上遺跡Ⅱ、丘江遺跡Ⅶ  
7 月 19 日 上野遺跡Ⅲ  
10 月 23 日 館遺跡

② 埋蔵文化財センター

- 令和元年 10 月 29 日 職場内巡視

4) そ の 他

交通規則の遵守・事故防止について、毎月の職員会議などの場で適宜注意を喚起した他、交通事故防止の DVD 鑑賞を実施するなど、交通安全（安全運転）の徹底を図った。

## V 市町村及び関係機関等への協力

|    | 協 力 内 容                                                              | 協 力 先                   | 期 日                                            | 担当者          |
|----|----------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------------------------|--------------|
| 1  | 史跡長者ヶ原遺跡 発掘調査報告書総論編監修                                                | 糸魚川市教育委員会               | 令和元年 5 月 21・22 日                               | 鈴木俊成         |
| 2  | 第 31 回新潟県考古学会報告                                                      | 新潟県考古学会                 | 令和元年 6 月 8・9 日                                 | 田中祐樹<br>春日真実 |
| 3  | 「遺跡から見た古代の佐渡－佐渡国分寺遺跡群講演会」講演                                          | 佐渡市教育委員会                | 令和元年 6 月 15 日                                  | 春日真実         |
| 4  | 高齢者活躍人材確保育成事業「技能講習」講師                                                | 公益社団法人 新潟県シルバー人材センター連合会 | 令和元年 7 月 5 日                                   | 沢田 敦         |
| 5  | 埋もれ木の加工痕の調査                                                          | 秋田県立大学木材高度加工研究所         | 令和元年 7 月 18・19 日、<br>11 月 18・19 日              | 荒川隆史         |
| 6  | 釜蓋遺跡出土石器整理作業指導                                                       | 上越市教育委員会                | 令和元年 7 月 30 日、<br>9 月 13 日、<br>令和 2 年 2 月 12 日 | 沢田 敦         |
| 7  | 科研費・基盤研究 S「年輪酸素同位体比を用いた日本列島における先史暦年代体系の再構築と気候変動影響評価」2019 年度第 1 回全体会議 | 名古屋大学大学院環境学研究科          | 令和元年 8 月 2・3 日                                 | 荒川隆史         |
| 8  | 新潟市遺跡発掘調査速報会 2019 ミニシンポジウム「青田遺跡」発表・事前打ち合わせ                           | 新潟市文化財センター              | 令和元年 8 月 31 日、<br>令和 2 年 2 月 1 日、<br>2 月 23 日  | 荒川隆史         |
| 9  | 令和元年度史跡古津八幡山保存活用計画等推進委員会                                             | 新潟市文化財センター              | 令和元年 9 月 30 日                                  | 沢田 敦         |
| 10 | 是川縄文館企画展考古学講座 講師                                                     | 八戸市埋蔵文化財センター<br>是川縄文館   | 令和元年 11 月 2 日                                  | 荒川隆史         |
| 11 | そのき市民学級「新潟の潟底に眠る縄文文化」講師                                              | 新潟市曽野木地区公民館             | 令和元年 11 月 6 日                                  | 荒川隆史         |
| 12 | 白根ロータリークラブ卓話講師                                                       | 白根ロータリークラブ              | 令和元年 11 月 7 日                                  | 佐藤友子         |
| 13 | 埋蔵文化財保護対策五県協議会における展示解説                                               | 埋蔵文化財保護対策五県協議会          | 令和元年 11 月 8 日                                  | 荒川隆史         |
| 14 | 日本遺産めぐり講師                                                            | 三条市市民部生涯学習課             | 令和元年 11 月 10 日                                 | 荒川隆史         |
| 15 | 新潟地域振興局 講演「古津八幡山遺跡について」                                              | 新潟県新潟地域振興局              | 令和元年 11 月 22 日                                 | 小野本敦         |
| 16 | 令和元年度新潟県市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修② 講師<br>講義「土器の実測について」<br>実習「土器の実測」「実測の講評」   | 新潟県教育庁文化行政課             | 令和元年 11 月 22 日                                 | 高橋 保         |
| 17 | こまつ潟湖と砂丘シンポジウム「北前船寄港地 2,500 年の記憶」講師                                  | 小松市埋蔵文化財センター            | 令和元年 11 月 23・24 日                              | 荒川隆史         |
| 18 | 「縄文研究の地平 2019 研究集会」発表                                                | 縄文研究の地平グループ             | 令和元年 12 月 15 日                                 | 小野本敦         |
| 19 | 科研費・基盤研究 S「年輪酸素同位体比を用いた日本列島における先史暦年代体系の再構築と気候変動影響評価」研究協力             | 福島大学共生システム理工学類 教授 木村勝彦  | 令和 2 年 1 月 23・24 日、<br>2 月 20・21 日             | 荒川隆史         |
| 20 | 平成 29 年度新潟県市町村等埋蔵文化財専門職員実務研修③ 講師<br>「裾野を広げる活用－小学校出前授業－」              | 新潟県教育委員会                | 令和 2 年 2 月 14 日                                | 荒川隆史         |
| 21 | 寺地遺跡出土丸木舟記者発表オブザーバー                                                  | 糸魚川市教育委員会               | 令和 2 年 2 月 20 日                                | 荒川隆史         |

### インターンシップ受け入れ

ドイツ・テュービンゲン大学アジア地域文化研究所日本学科の依頼により、留学生 2 名を受け入れた。

内 容：上野遺跡発掘調査現場での発掘調査体験 期 間：令和元年 7 月 30・31 日



---

公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団年報

令和 元 年度

印刷 2020（令和 2）年 9 月 16 日

発行 2020（令和 2）年 9 月 18 日

編集発行 公益財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団  
〒956-0845 新潟県新潟市秋葉区金津 93 番地 1  
TEL 0250-25-3981

印刷 有限会社不二出版  
TEL 024-932-0111

---